

令和3年度

事業報告及び法人会計決算（計算書類及び財産目録）



社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

目 次

1. 令和3年度 事業報告	1 頁
① 令和3年度事業 報告附属明細書	33 頁
2. 令和3年度計算関係書類及び事業等区分一覧表	
① 〃 資金収支計算書 (第1号の1様式)	34 頁
② 〃 資金収支内訳表 (第1号の2様式)	37 頁
③ 〃 法人拠点区分資金収支明細書 (別紙3 (⑩))	40 頁
④ 〃 事業活動計算書 (第2号の1様式)	44 頁
⑤ 〃 事業活動内訳表 (第2号の2様式)	48 頁
⑥ 〃 法人拠点区分事業活動明細書 (別紙3 (⑪))	51 頁
⑦ 〃 貸借対照表 (第3号の1様式)	53 頁
⑧ 〃 貸借対照表内訳表 (第3号の2様式)	54 頁
⑨ 〃 財産目録 (別紙4)	55 頁
⑩ 〃 財務諸表に対する注記 (法人会計)	56 頁
⑪ 〃 監査報告書	58 頁

令和3年度 事業報告（概要）

社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染拡大が始まり2年の歳月が過ぎ、経済活動に大きな影響が出ており、困窮する世帯が増加しております。自粛生活を余儀なくされ、人との接触や外出の制限などにより、地域での行事やイベントも中止となり、地域とのつながりが薄れ、住民とのつながりが基本である本会にとって厳しい事業状況となりました。

ワクチンの接種状況や外出の制限などから、健康福祉委員会活動の制限、高齢者はつつデザインサービス事業の利用者が減少するなど、高齢者のいきがい活動に大きな影響が出た他、新型コロナウイルスの特例貸付が近隣の市町村を遥かに上回る申請が出され貸付を行いました。

第3期四万十市地域福祉計画が2年目となり、「誰もが安心して暮らせる笑顔あふれる四万十市」を基本理念として、市内を12圏域（中学校区）に分け住民座談会を、1地区3回程度予定しておりますが、コロナ禍により予定通りの開催が出来ませんでした。

各種団体事務の会議や研修会も、中止や延期が相次ぎましたが、基本的な感染対策をとりながら最低限必要な会議等を行った他、民間が参入しない訪問入浴事業については、依然として利用者数は低迷しておりますが経営を続けております。

法人運営に関しては、自主財源が乏しい中、四万十市からの補助金や積立金を一部取崩しながら運営しており、厳しい経営状況ではありますが、公共性の高い社会福祉法人として社会福祉法を遵守しながら、住民に頼られる社会福祉協議会を目指すための運営を行いました。

以下、令和3年度の各事業等の状況について重点目標に沿って報告します。

重点目標

1. 地域福祉の推進とボランティア活動の充実
2. 総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進
3. 在宅福祉サービスの充実
4. 法人運営と地域福祉計画の推進

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

①生活支援コーディネーター(SC)設置業務 (地域福祉活動事業サービス区分)

《市受託金決算額 12,966,186円》 <職員2名>

生活支援コーディネーターは、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的として、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築や社会資源の開拓に取り組んでいます。

今年度は新型コロナウイルス感染症状況に伴い、「集い」への制限が昨年度より少しずつ緩和され、感染対策に配慮しながら生活支援コーディネーターの役割である多様な介護予防・生活支援サービスの創出や、高齢者の社会参加の促進に向けて取り組まれました。

第1層推進会議では、昨年度実施した食に関するニーズ調査の結果より、買い物支援の取り組みを検討することとなり、社会福祉法人の公益的な取り組みの中で、社協がモデル事業として買い物支援を実施しました。また、高齢者在宅生活ガイドブックの更新時期となり、掲載内容について委員の中で協議を進め、高齢者にとっても身近な冊子となるように民間サービスの情報や新たな社会資源を追加しました。

第2層推進会議(福祉計画座談会)は、新型コロナウイルス感染症拡大により座談会が開催できず、協議ができていない地域もありましたが、地区の運動会の中に住民参加型のプログラムを追加して世代間交流を図ったり、地域課題の把握のために区長会の協力を得てアンケート調査を実施した地区もありました。現状を踏まえて、来年度も地域福祉活動の創出に向けて協議を進めていきます。

地区健康福祉委員会の介護予防活動の充実・強化を目的とした「介護予防サポーター養成講座」については、R3年度より名称を「健康づくりサポーター養成講座」と変更し、介護予防だけでなく健康増進という視点も取り入れた内容の講座を開催しました。

多様な訪問型サービス「いきいき生活応援養成講座」の新規課程については、R3年度も高知県介護労働安定センター主催の「介護に関する入門的研修」とコラボして開催し、更新課程についても例年通り開催しました。養成講座で養成した人材の活動機会の創出に向けて、社協ボランティアセンターと連携を図りながらマツチングに努めています。

これまで同様、既設の健康福祉委員会の活動支援や相談対応にも取り組み、社協内のレクリエーション道具を貸し出せるように貸出リストを作成し、活動内容のマンネリ化に対応できるように努めました。また、未設置地区へアプローチを図り、新たな設立に向けて支援を進めていきます。

<主な活動内容>

生活支援体制整備事業関係	件数	備考
①二一ズや地域資源情報の把握	80件	地域ケア会議他
②サービス・支援の担い手の養成	17件	介護予防サポーター養成講座他
③研修会の参加(研修会・出張他)	24件	
④関係者間との情報共有	47件	行政・事業所他
⑤推進会議(第1層・第2層)	79件	
計	247件	

健康福祉委員会関係	件数	備考
①介護予防・健康推進事業への協力	104件	介護予防体操・学習会他
②健康福祉委員会の設立関係	14件	
③意見交換会の開催・参加	48件	
④活動の広報支援	7件	「地域のいきいき活動」・社協だより
⑤わななげ普及事業関係	20件	わななげ交流大会他
計	193件	

1. 地域福祉の推進とボランティア活動の充実

② コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 設置事業

(地域福祉活動事業サービス区分)

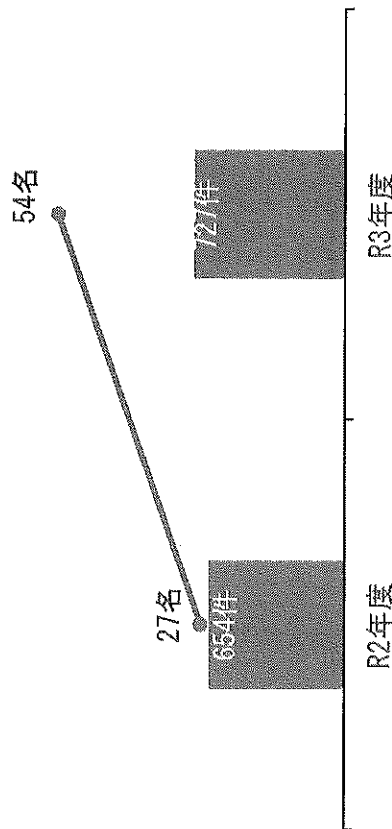
《 市受託金決算額 6,985,699円 》 < 職員1名 >

支援実績	R2	R3
実支援者数	27名	54名
子育て中の親子	0名	1名
青年期(15~24歳)	0名	0名
壮年期(25~44歳)	1名	4名
中年期(45~64歳)	5名	13名
高齢期(65~74歳)	6名	13名
後期高齢期(75歳以上)	14名	23名
不明	1名	0名
延べ支援回数	654件	727件
延べ訪問相談件数	266件	279件
延べ来所相談件数	131件	57件
関係機関等との連携	226件	369件
ケース会議等	31件	18件
地域福祉ネットワーク会議	0件	4件
研修会への参加	17回	18回

個別支援については、ワンストップで分野を問わず相談・支援を行うことや、各分野間の相談機関で連携を密にとることにより、対象者やその世帯について、分野横断的かつ包括的な相談・支援の実現に向けて、専門職や関係機関をつなぎ、課題解決のためのネットワークづくりを努めています。地域住民や関係機関から寄せられる情報をもとに54名の方に介入、727件の支援を行いました。

制度の狭間の課題として代表される「ゴミ屋敷」の課題が多く寄せられるようになっており、実際に、多職種連携により解決できた事例もあれば、ゴミの問題を本人が認識しておらず、支援がスムーズに進んでいない事例も残されています。

R3年度に新たに設置した「地域福祉ネットワーク会議」を4回開催し、課題解決の方法について、地域住民と一緒に考え、実践しました。今後当該会議を「地域連携」を推進していくツールとして展開し、地域で発生する個別課題を「我が事」として捉え、課題の解決のための仕組みづくりを「多職種連携」と「地域連携」の両輪で推進していきたいと考えています。



■ 延べ支援回数 ● 実支援者数

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

③高齢者閉じこもり等予防支援業務事業 (地域福祉活動事業サービズ区分)

《市受託金収入 2,857,136円 サービス区分間繰入金収入 0円 決算額 2,857,136円》 〈職員1名〉

この事業は、閉じこもり等支援が必要な高齢者を効果的かつ有効な方法で早期把握し、介護予防活動等へ繋ぐことで、要介護状態に陥ることを防ぐことを目的としています。民生委員や健康福祉委員会等から聞き取った情報をもとに訪問し、必要に応じて他機関や制度等へ繋ぐ支援を行いました。あつたかふれあいセンター等の集いの場や地域包括支援センター等の専門機関に繋ぐことで、閉じこもりがちの高齢者の社会参加や介護予防、重度化防止に寄与していると考えます。

閉じこもり報告会を定期的に開催し、高齢者支援課、地域包括支援センター、あつたかふれあいセンターと支援内容の検討等を行うことができました。多職種多機関との連携を図ることで、対象者により適した支援を提供することができています。

また、傾聴ボランティア、認知症家族の会たんぼのメンバーと個人宅へ同行訪問を行い、精神的不安を抱えた対象者へ寄り添った支援を心がけました。

項目	H29年度	H30年度	項目	R1年度	R2年度	R3年度
個別訪問件数	355	387	個別訪問件数	224	374	288
うち新規件数	110	77	うち新規件数	67	86	73
うち終了件数	103	55	うち終了件数	73	89	65
他機関への繋ぎ等件数	43	18	継続訪問者翌年度繰り越し数	4	1	8
事業説明・聞き取り等訪問件数	53	35	住民情報聞き取り地区数	21	13	30
定期閉じこもり報告会等(回)	12	12	定期閉じこもり報告会等(回)	12	8	9
個別ケース検討会(回)	5	19	個別ケース検討会(回)	5	13	14
緊急通報装置撤去作業件数	10		その他会議・研修参加	16	26	33

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

④中村地域配食サービス事業

(共同募金事業サービス区分)

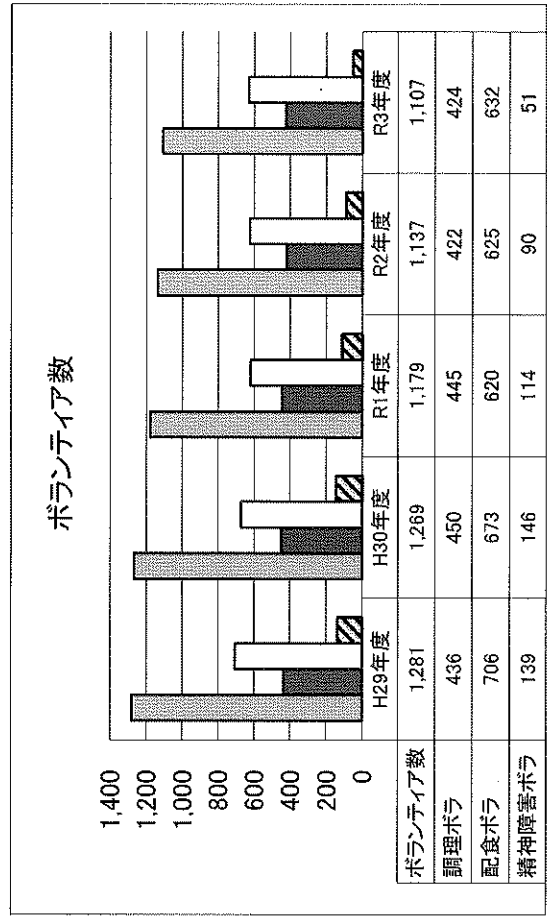
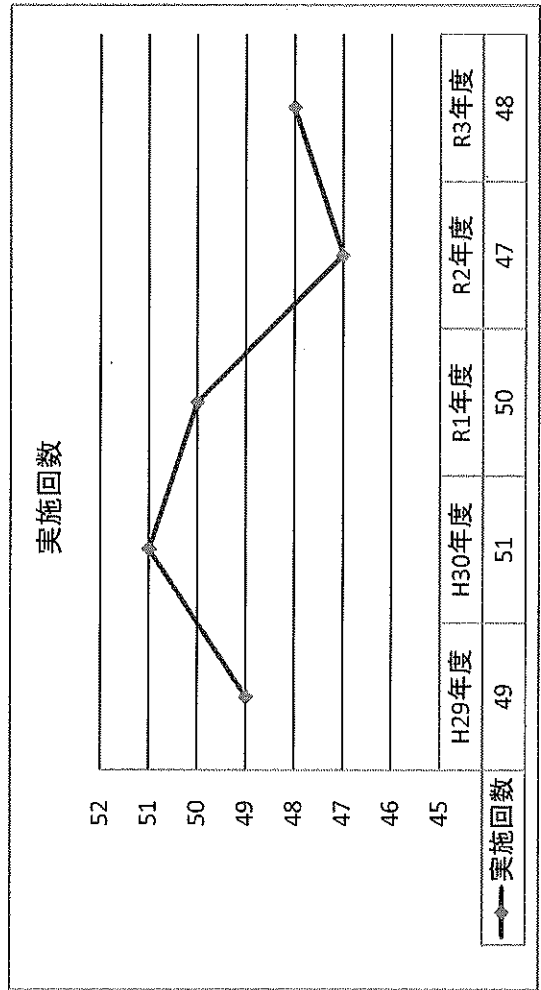
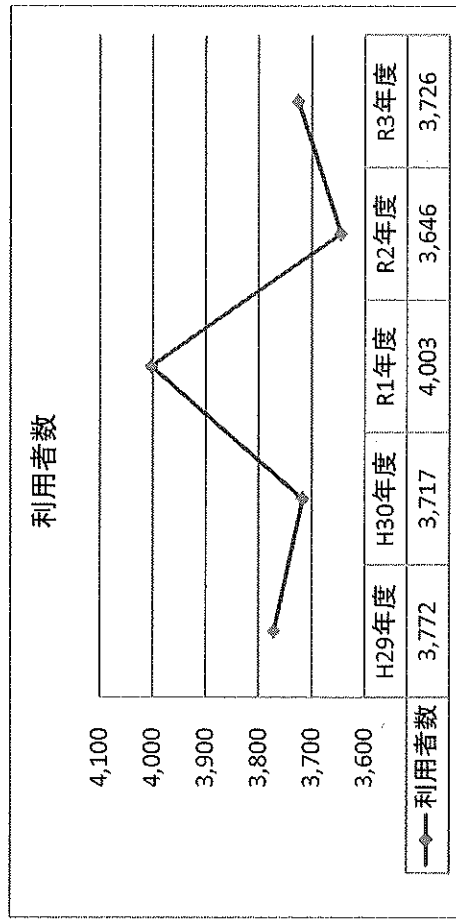
〈パート1名 調理ボランティア9名 配食ボランティア14名〉

《 会費収入 300,000円 市補助金 299,769円 共同募金配分金 1,076,310円 利用者負担額 1,117,800円 決算額 2,793,879円 》

75歳以上の在宅で一人暮らしの高齢者や重度の障害者世帯に対し、毎週水曜日にボランティアの協力を得て、安否確認を目的に配食サービスを実施しております。

令和4年3月末の登録者は98名、1回の平均利用者は77.6名でした。通院や他の福祉サービスの利用で、単発的に利用をしないこともありますが、昨年度と比べて利用者はほぼ横ばいです。また、今年度は利用者全員にアンケート調査を行い、世帯状況や配食の必要性などを確認しており、今後の事業展開に反映させていく予定です。

配食ボランティアは、主に民生委員の協力が得て行っておりませんが、配達・調理ボランティアの方の新規登録が少ない状況で、年間を通して呼びかけましたが、十分な人数が確保できていないことから、次年度も引き続き広報等にて募集を行う予定です。



1. 地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑤ ボランティアセンター事業（ボランティア活動事業サービ 《職員1名》

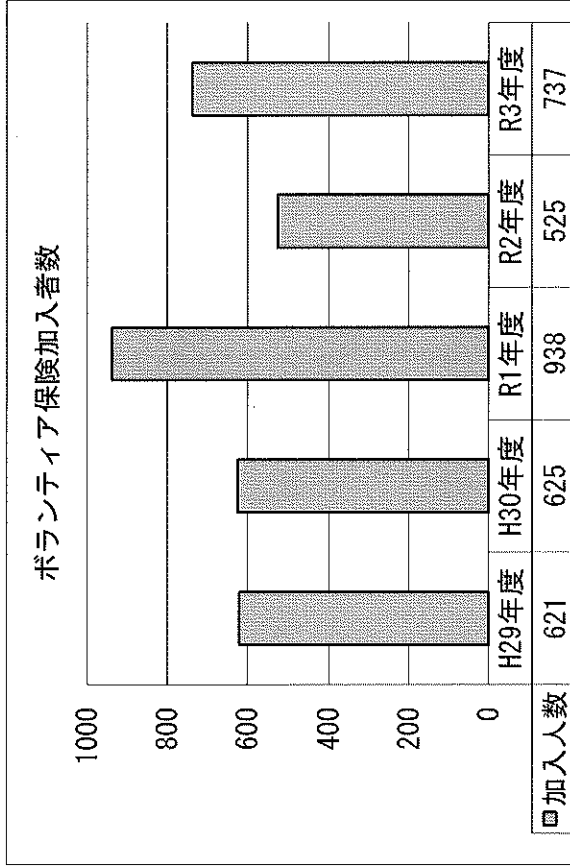
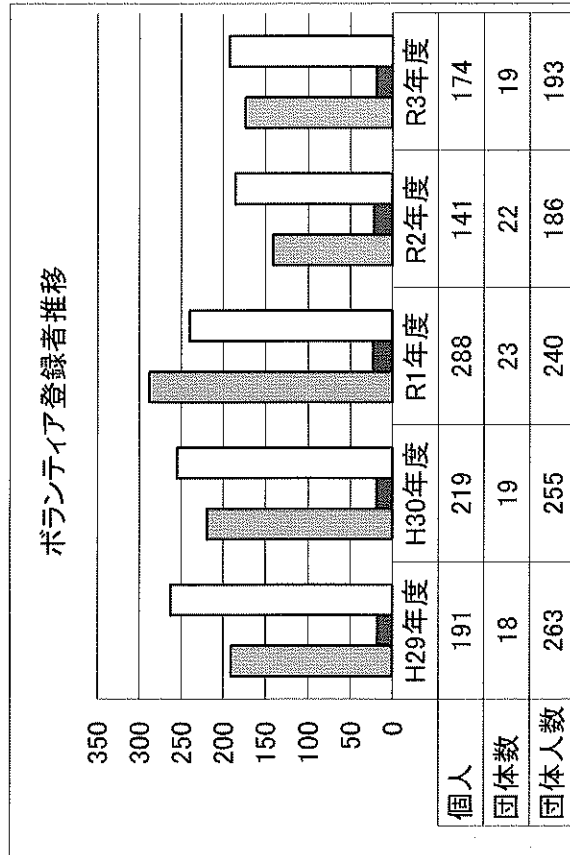
《 市補助金収入5,987,000円(内750,000円災ボラ) 会費収入46,000円 共同募金配分金85,000円 災ボラ積立金252,584円 その他の収入921,003円 決算額 7,291,587円 》

新型コロナウイルス感染症が継続しボランティア活動に制限がかかる状況でしたが、感染症対策等を行いなながら可能な範囲でのボランティア活動を再開し始めました。傾聴ボランティアは感染状況が落ち着いているときに個人宅訪問を行い、その他は定例会でスキルアップと自主性を高めることを継続しました。

災害ボランティア研修会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い一度は延期しましたが開催することができました。コロナ禍においても災害の恐れがあり市民の志しも高く、案内を出した直後に申し込みが多くなりました。研修会をきっかけに災害ボランティア事前登録は新たに9名が登録してくれました。新型コロナウイルス感染症の状況下では県外からは県外からのボランティアが増え、災害ボランティア研修会の内容を再検討し、災害ボランティアセンターマツチングコーナーネイター育成や研修会の内容を増やし地域として防災意識が高まるよう取り組んでいきます。高知県社会福祉協議会主催のナツボラにまちなかサロンが参加し、高校生のボランティア参加が多くなり、地域福祉の推進につながっています。こととで、将来に活かすためボランティア要請には、例年通りボランティア団体等を派遣するコーディネート役割も果たしています。尚、市の理解により補助金750,000円と以前より災害時の積立としていた252,584円を合わせて、1,000,000円を災害時のボランティア活動資金として運用できるよう毎年繰越して行くこととしています。

- ・ 傾聴ボランティア 個人宅訪問実利用者数 4 名 訪問者延 9 名
- ・ 災害ボランティア研修会 参加者 34 名
- ・ 「ナツボラ」参加学生ボランティア 12 名 (保険対応 33 名)
- ・ 災害ボランティア事前登録者総数 29 名 団体登録 2 団体

定例会 9 回 参加者延 54 名



※R1年度から加入人数は、間接的に加入している人数も含んでいます。

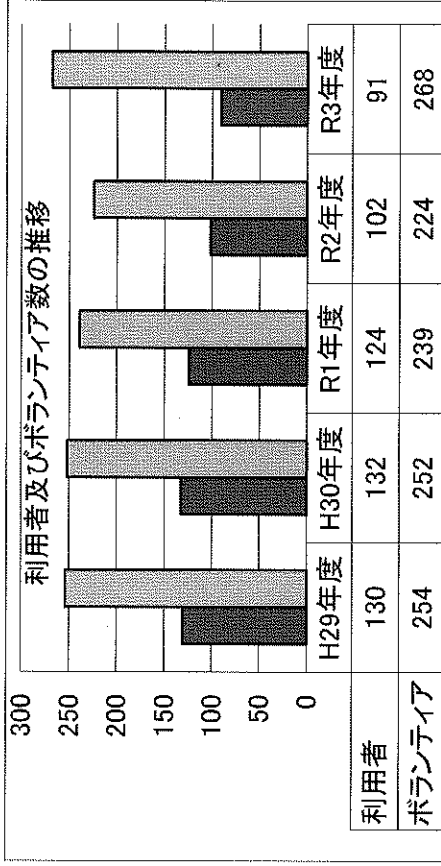
1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑥障害者等サービス事業（共同募金事業サービス区分）

《 会費収入 12,874円 共同募金配分金 38,000円 決算額 50,874円 》

朗読サービス事業

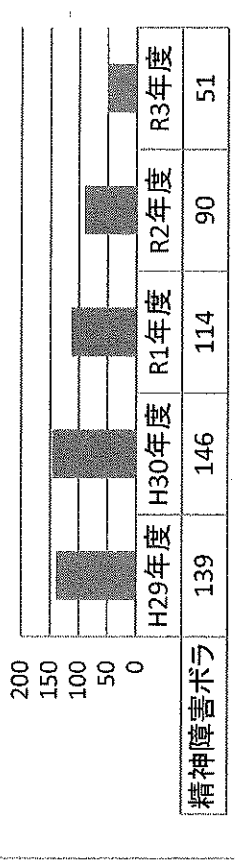
朗読ボランティアの協力により、情報不足になりがちな視覚に障害のある方等に、毎月市の広報と社協だよりをCDに録音して送付し、日常生活に必要な情報提供を行いました。
また、市図書館にも毎月朗読CDを送付して市民への貸出も行ってまいります。利用している方からは、四万十市の様子が分かって助かっていまして喜びの声が届いています。
実利用者 9名



精神障害者社会参加事業

精神障害者の社会参加を目的に、配食サービス事業の弁当の配達を行い、社会参加のきっかけ作りとしています。当事者の体調等により変化があるので、職員がサポートをしながら行いました。
(配食サービス事業でも再掲)

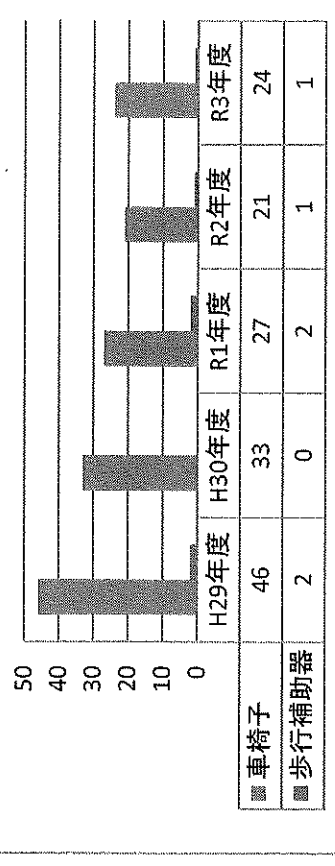
精神障害者ボランティア推移



福祉機器貸付事業

身体機能の低下した障害者や高齢者等の生活支援の為、車椅子等を一定期間無料で貸し出し、日常生活の利便を図り、生活の質の向上と併せて介護者の負担軽減に努めました。

福祉機器貸付状況



1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑦福祉教育の推進（共同募金事業サービス区分）

《職員兼務2名》

市内小・中学校の児童生徒に、ボランティア活動等の意義や福祉への理解を高め、児童生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることに努めました。新型コロナウイルス感染症の継続に伴い、最終調整まで行っていました。感染増加で中止せざるを得なくなった学校が2校、感染状況によって依頼の時期が偏る、通年と比較して依頼件数の減少がありました。

また、前年度に改訂したガイドブックによって、学校との打ち合わせ等はスムーズに進み、福祉の仕事に関する講和の依頼もあり、ボランティア団体との連携も図れています。

引き続き今年度も看護専門学校の臨地実習や大学で社会福祉士を目指す学生を受け入れて、社会福祉協議会の役割や地域福祉についての教育の場としています。

学校名等	体験学習等				備考
	実施日	内容	学年	人数	
中筋小学校	R3. 6. 15	手話学習	全学年	39名	
利岡小学校	R3. 6. 21	車いす体験・視覚障害体験	3・4	8名	
四万十看護学院	R3. 9. 16	高齢者疑似体験	2	27名	
四万十看護学院	R3. 10/12・14	老年看護実習	2	3名	延2日間
	R3. 10/1・4			3名	
東中筋中学校	R3. 11. 5	高齢者疑似体験・車いす体験	3	11名	
下田小学校	R3. 11. 22	車いす体験	3・4	13名	
下田中学校	R3. 11. 22	高齢者疑似体験	1	9名	
西土佐小学校	R4. 1. 17	高齢者疑似体験・車いす体験	1・2	20名	
幡多看護専門学校	R4. 1/17・18	高齢看護実習	2	6名	延2日間
藤岡小学校	R4. 1. 22	車いす体験	3・4	5名	
西土佐中学校	R4. 2. 10	高齢者疑似体験・福祉の仕事講和	2	16名	
合 計				160名	

1. 地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑧ゆずります・ゆずってくださ事業（共同募金事業サービスク分）

《職員兼務1名》

家庭などで眠っている貴重な資源について新たな活躍の場が見つかるように「情報の収集とその情報の公開」を社協だよりで行いました。「ゆずります登録カード」、「ゆずってくださ登録カード」に書いてもらった情報が一致した時に双方へ再確認したうえで、物品提供いただき届けています。

物品によっては登録カードが増えるなど市民の方へかなり浸透しているように思います。また、物品を届けた際には非常に喜んで受け取ってくれています。

●ゆずります登録カード受取数 50枚

●ゆずってくださ登録カード受取数 70枚

番号	物品名	配達地区名	番号	物品名	配達地区名
17	キャノン純正インク	中村	35	打ち直し綿掛布団	八束
18	彫刻刀	中村	36	半ブーツ	八束
19	中村中学校ユニフォーム	大川筋	37	エプソン純正インク	具同
20	エプソン純正インク	中村	38	チャイルドシート	中村
21	一輪車	東山	39	石油ストーブ	中村
22	自転車	東山	40	スニーカー	具同
23	炊飯器	下田	41	ジャンパー	具同
24	オセロセット	八束	42	エアロバイク	具同
25	本	八束	43	FAXインクリボン	中村
26	自転車	具同	44	土佐硯	具同
27	自転車	東山	45	キャノン純正インク	具同
28	ことわざ辞典	中村	46	キャノン純正インク	具同
29	乳児用いす	下田	47	キャノン純正インク	下田
30	ペビーカー	下田	48	犬用オムツ	東山
31	丸テーブル	具同	49	ガーゼ寝巻	中村
32	キャノン純正インク	中村	50	紙パンツ用パッド	中村
33	キャノン純正インク	中村	51	ジュニアシート	中村
34	打ち直し綿掛布団	下田			

番号	物品名	配達地区名	番号	物品名	配達地区名
1	車イス	東山	9	四字熟語の本	中村
2	絵の具用品	中村	10	シルバーカー	東山
3	地図の本	中村	11	エプソン純正インク	下田
4	偉人の本	中村	12	運動靴	具同
5	チャイルドシート	具同	13	シルバーカー	中村
6	和英辞典	中村	14	運動靴	東山
7	書道道具	中村	15	40型テレビ	大川筋
8	子供服	具同	16	額縁	中村

1. 地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑨ 地域福祉の推進（法人運営及び共同募金配分金サービス区分）

《福祉活動事業 会費収入 30,000円 共同募金配分金 32,370円 決算額 62,370円》

福祉健康講座は、昨年度に引き続き映画上映会を実施しました。コロナ禍であり参加された方は二日間で37名の方が鑑賞されました。今回は地域に向き住民の身近な集会所で実施しました。また、参加された方からは、身近な場所での映画鑑賞で嬉しくなりました。

健康福祉地域推進事業では、6地区の委員会からの依頼を受け、介護予防のレクリエーションやゲーム、「フレイル」等の学習会に協力しました。また、併せて社協会費も徴収しました。

ボランティアセンターとして、福祉施設や小学校からの依頼を受け、ボランティアを派遣していましたが、昨年度同様に本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により全てが中止となりました。

新型コロナウイルス感染症による特例貸付件数は18件ありましたが、生活福祉資金の申請、貸付件数はありません。

日常生活自立支援事業は、5月に1名解約し契約者はいません。また、成年後見事業については、相談が1件程度であり受任者は1名となっています。

* 社協会費（西土佐地区） 565口数 282,500円
新たに行政機関等の新規加入もありました。

- ・ ボランティア団体支援
やすらぎの会、JAこだま会

事業名	内 容		場 所		回 数		延 べ 人 数		備 考
	内 容	場 所	回 数	延 べ 人 数	回 数	延 べ 人 数			
福祉健康講座	映画自主上映会	4地区、集会所他	2日 4回	37名				11/11・12開催	
健康福祉地域推進事業に協力	介護予防事業に協力	各地域の集会所他	9回	125名				6地区	
ボランティアセンター機能	話し相手 嬉しいもの カラオケ 読み聞かせ 合計	ダイサービスセンター 特養かわせみ ケアハウス 西土佐小学校	- - - - -	- - - - -				新型コロナウイルス感染症の影響により未実施	
事業名	内 容	場 所	回 数	延 べ 人 数	備 考				
高齢者閉じこもり等予防支援	関係機関との情報交換及び対象者宅訪問			0件					
ふれあい相談	電話や来所による相談			20件					
訪問相談・支援	相談業務等に関連した訪問			9件					
フードバンク事業	受入れ 利用者			6件 2名				主にお米	
生活福祉資金貸付	問合せ・相談等 福祉資金の貸付			59件 0件				主に機選に関すること	
新型コロナウイルス特例貸付	緊急小口資金	申請件数 申請金額		4件 800,000円					
	総合支援資金	申請件数 申請金額		6件 2,900,000円					
	総合支援資金 (延長)	申請件数 申請金額		1件 600,000円					
	総合支援資金 (再延長)	申請件数 申請金額		7件 390,000円					
	相談等（生理用品）	申請件数 申請金額		2件 1件				実数1人	
女性活躍支援事業	生活資金の貸付（特別小口含）			7件					
小口生活資金貸付	相談・支援 利用者			0名				5月に解約	
日常生活自立支援事業	相談・支援 利用者			42日 1名					
成年後見事業	短期使用者に貸出			8件					

1 地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑩ 法人運営（法人運営サービス区分）

西土佐支所にて実施した各団体事務と、関係機関との会議等の状況は以下のとおりです。

【団体事務】

西土佐地域老人クラブ連絡協議会(四万十市老人クラブ連合会)

会長会(5/23, 3/19)、監査(4/6)、ゲートボール大会(4/15, 6/29, 7/15, 1/20, 3/17)、秋季ゲートボール大会10/21(教育委員会)

《市老連》役員会(4/8, 5/21, 7/1, 9/2, 11/4, 1/6, 3/3)、理事会(4/20)、定期総会(5/28)、若手・女性委員合同総会(7/28, 3/29)

シルバリーリハビリ体操(5/10, 7/12, 9/14, 10/11, 11/8)、ふれあい体操(12/7, 1/18)、ぼっちゃ体操会(10/16)

体力測定(10/28)、ゲートボール大会(12/2)、グラウンドゴルフ大会(3/7)

県老人クラブ大会(11/11)、県老連打合せ(10/11)、ろうれんピック(10/21)

幡多地区芸能大会(11/29)

西土佐地区民生委員児童委員協議会

定例会(4/21, 6/24, 8/6, 10/14, 12/16, 3/17)、監査(4/8)、幡多ブロック研修会(7/10)

幡多ブロック研修会(7/10)、新任(3年目)研修(8/3)、中堅研修(10/22)、新任(2年目)研修(11/1)、幡多ブロック研修関係(11/15)

就学前児童保護者との顔合せ(11/26)、県民生委員大会(12/10)、幡多ブロック連絡会(2/14)法定民児協会長・副会長等研修会(3/8)、新任

四万十市身体障害者連盟 総会(4/8)

日本赤十字社

災害等無く、活動無し

共同募金委員会

街頭募金(10/2)、特別募金(10/25)、学校募金(小 12/6)

【関係機関との会議等】

こだま会総会(4/13)、幡多地域四者会会(4/15)、小中学校支援地域本部運営協議会(6/17)、高齢者閉じこもり等予防支援事業打合せ(6/29)

社会を明るくする運動出発式(7/1)、青少年育成会議関係(7/15)、スマホ体験講座(8/2)、健康づくりサポーター養成講座(10/29)、福祉計画関係(

じんけんフェスティバル関係(12/6)、一般廃棄物の処理について(2/7)

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

①ふれあい相談センター事業（共同募金事業サービス区分）

《 会費収入 189,000円 共同募金配分金 195,000円 決算額 384,000円 》

一般相談	毎週 月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	(四万十市社会福祉センター 本所)
法律相談	月/2回 第1・3月曜日	午後1時30分～午後3時30分	(四万十市社会福祉センター 本所)
支所相談	毎週 月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	(四万十市総合福祉センター 支所)

一般相談については、対応職員を決めず来所や電話の相談を基本に、必要に応じて訪問による対応で実施していますが、数字だけ見ると昨年度同様非常に少なくなっています。新型コロナウイルスの影響により生活福祉資金特例貸付の相談対応が増えたことや、コミュニティソーシャルワーカーが窓口となつて多くの相談を受けていることなど要因は様々ですが事務所対応は少なくなつたと捉えています。また、法律相談については1回につき上限4名として毎月2回実施していますが、相談者が多く住民からは問題が解決して良かったと言っていたりいる事業で今後も実施していきます。

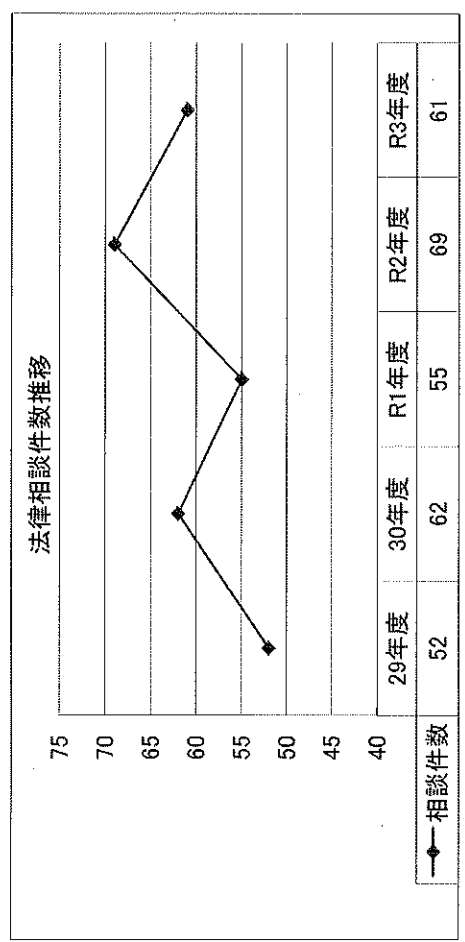
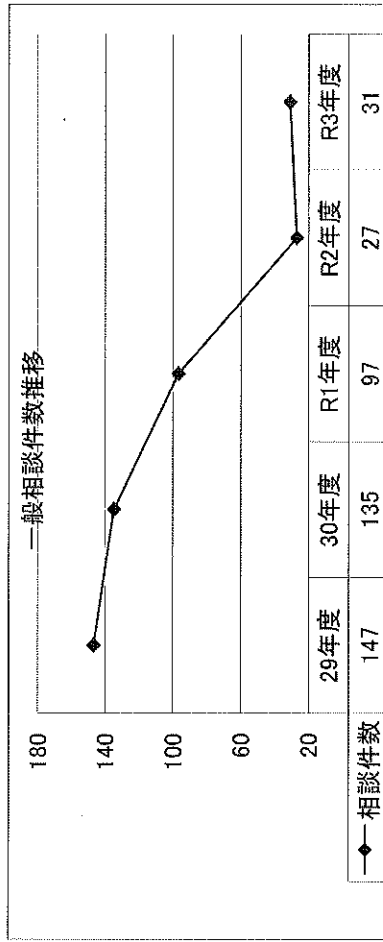
29年度		30年度		R1年度				
1	生活問題	34	1	フードバンク	93	1	家計・金銭問題	43
2	金銭問題	29	2	生活問題	19	2	生活問題	22
3	職業・生業問題	11	3	金銭問題	8	3	家族関係・離婚・結婚問題	12
3	介護保険・老人福祉問題	11						

R2年度		R3年度			
1	家計・金銭問題	7	1	生活問題	11
2	家族関係・離婚・結婚問題	5	2	家計・金銭問題	9
3	職業・生業問題	4	3	介護保険・高齢者福祉問題	5

※1 一般相談については、職員が対応

※2 法律相談については、弁護士が対応

中村ひまわり基金法律事務所・法テラス中村法律事務所・四万十法律事務所の弁護士が輪番対応



2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

②福祉サービス利用援助事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

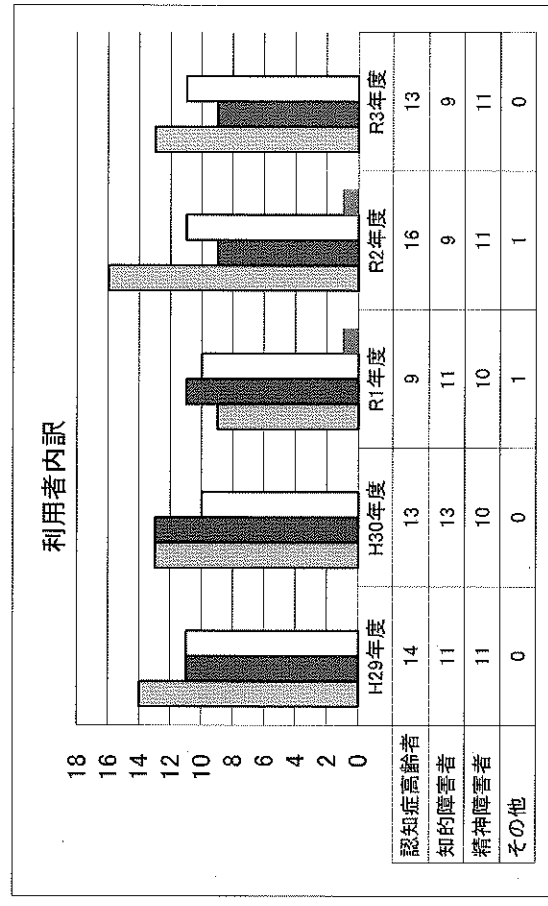
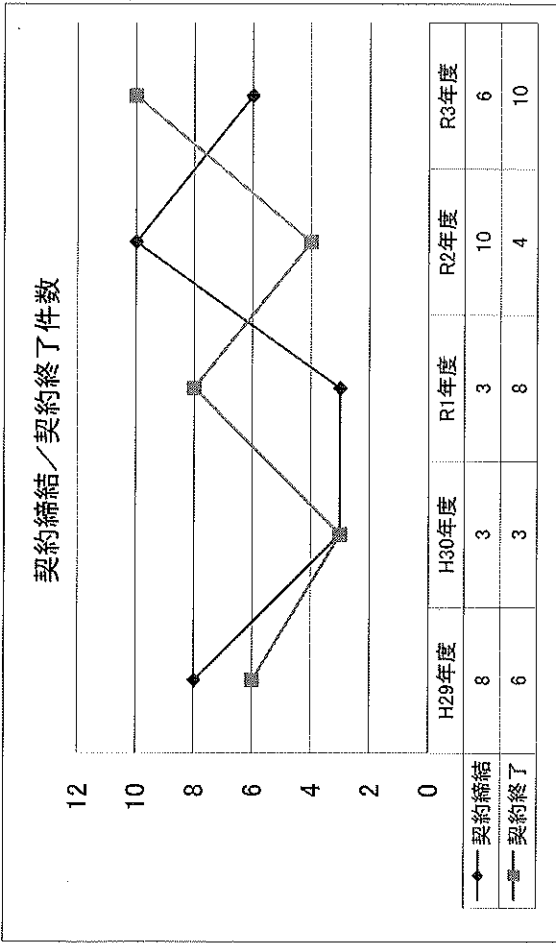
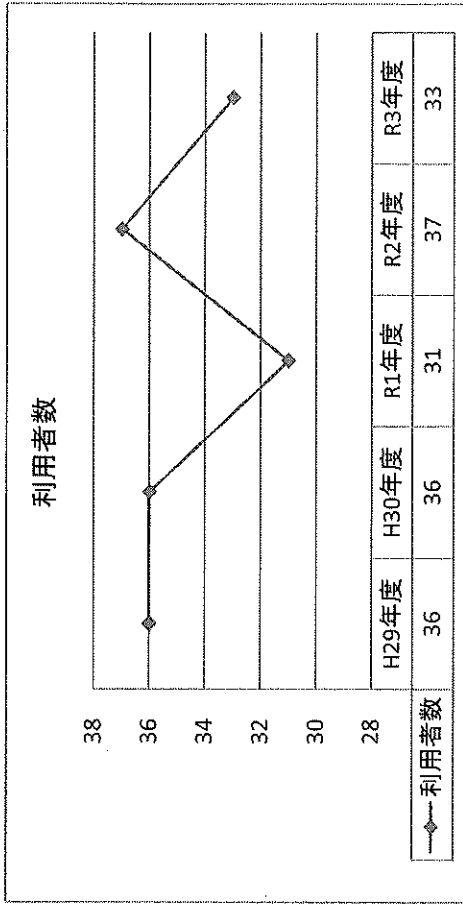
《 県社協受託金 3,031,000円 利用料 211,500円 後見報酬 2,357,500円 市補助金 1,623,157円 その収入 0円 決算額 7,223,157円 》
 <職員2名(内支所1名)>

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用援助に合わせ日常的な金銭管理を行い、地域で自立し、安定した生活が送れるように利用者の支援を行いました。

R3年度の新規契約者の内訳は、認知症高齢者4名、知的障害者0名、精神障害者2名でした。また、契約終了者については、死亡4名、家族管理2名、後見人選任2名、本人管理2名でした。

死亡4名の内1名の相続人がおらず、預金通帳を県社協に預け替えしています。

- ・相談支援件数他 1,657件
- ・新規契約件数 6名
- ・契約終了者数 10名



2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

③法人後見事業 (福祉サービスマネジメント事業)

《 後見報酬収入 2,357,500円 》 (福祉サービスマネジメント事業再掲) <職員7名兼務>

認知症・知的障害・精神障害等、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人、保佐人又は補助人になることにより、その人の財産管理や身上監護を行い、その人の権利を擁護することを目的に支援を行っています。
対象者の要件として、四万十市在住で紛争性がなく、身上監護と日常的な金銭管理を中心に市長申立てをされる方等を中心に受任をしています。今年度から受け持っていない職員に兼務で後見業務を行ってまいります。
課題として、現在受任依頼があっても、受け入れが困難な状況になっております。

・新規契約件数 2名 ・契約終了者数 1名 ・年度未受任者数 10名

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
問合せ件数	4	9	5	15	12
支援回数	357	392	457	414	385
新規契約数	2	3	1	2	2
契約終了	1	0	1	1	2
実受任者数	6	9	9	10	12

※後見対象者 判断能力が欠けているのが通常の状態の方
 ※保佐対象者 判断能力が著しく不十分な方
 ※補助対象者 判断能力が不十分な方

27年度	受任時年齢	類型	障害等	審判到達日	申立人	現在の状況等	利用経緯等		備考
							家庭裁判所		
	86歳	後見	認知症	H27.7.27	甥	在宅⇒施設			R3/9/15死亡
	91歳	後見	認知症	H27.12.25	四万十市長	施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
	64歳	後見	知的障害	H27.12.25	四万十市長	施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
29年度	86歳	後見	認知症	H29.5.1	四万十市長	施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
	81歳	後見	認知症	H29.6.14	四万十市長	在宅⇒施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
30年度	87歳	後見	精神障害	H31.3.28	四万十市長	在宅⇒施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
	50歳	後見	知的障害	H31.3.28	四万十市長	病院	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
令和元年度	74歳	後見	知的障害	R1.10.1	四万十市長	施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
2年度	64歳	後見	知的障害	R2.7.15	四万十市長	在宅	福祉事務所		
	99歳	後見	認知症	R2.10.1	四万十市長	施設	地域包括		R3/7/2死亡
3年度	74歳	後見	認知症	R3.4.23	四万十市長	施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		
	74歳	後見	認知症	R4.3.11	四万十市長	施設	地域包括 (福祉サービスマネジメント事業より移行)		

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

④小口生活資金貸付事業（貸付事業サービス区分）

低所得者等に対し、短期の生活資金貸付と相談援助を行うことにより、生活の安定を図ることができるよう努めました。

令和元年度に小口生活資金貸付事業の要綱を一部改正し、生活保護世帯又は保護申請世帯のつなぎ資金として貸付を行うようとした為、対象世帯からの申込みが大幅に増加しており、福祉事務所と連携して対応しました。なお、特別小口資金についての相談や貸付はありませんでした。

※ 資産の状況（令和4年3月31日） ※令和3年度 相談者数 150名

・預金残高 3,764,589円

※ 小口貸付等の状況

・相談件数 111件

・貸付額 1,331,000円(30件)

・貸付残額 309,700円

・償還終了件数 19件

※ 特別小口貸付等の状況

・相談件数 0件

・貸付額 0円(0件)

・貸付残額 0円

・償還終了件数 0件

生活福祉資金貸付事業（貸付事業サービス区分）

《 県社協受託事業決算額 2,396,000円 うち特例貸付事務実績額 1,514,000円 》

低所得者等に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立、生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようを目的としています。令和2年3月25日より新型コロナウイルスの生活福祉資金（特例貸付）が始まり、高知県社会福祉協議会、自立相談支援機関と連携して貸付対応を行いました。

【令和3年度貸付等の状況】 ※支所含む

* 問合せ・相談件数 220件
 * 申請件数 2件
 * 貸付件数 2件 (合計286,000円)

(内訳)

教育支援資金 1件 (186,000円)

緊急小口資金 1件 (100,000円)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比 R3年-R2年
貸付件数	3	4	9	33	30	-3
貸付額	220,000	330,000	306,000	1,776,000	1,331,000	-445,000

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比 R3年-R2年
償還完了件数	6	4	8	24	22	-2
償還額	460,000	239,512	362,575	1,421,950	1,433,170	11,220
内延滞利子	20,000	1,057	130	0	0	0

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比 R3年-R2年
年度末貸付件数	3	3	3	13	12	-1
貸付残額(元金) ①	110,000	201,545	145,100	479,150	376,980	-102,170
延滞利子 ②	98,096	0	0	0	0	0
年度末残額 ①+②	208,096	201,545	145,100	479,150	376,980	-102,170

新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金（特例貸付）令和2年3月25日より始まった特例貸付の対応を今年度も行い、新型コロナウイルスの影響で収入が減少した世帯に対して、緊急小口資金は最大20万円、総合支援資金は最大60万円の貸付を行いました。総合支援資金は延長が2回可能で最大合計200万円の貸付を行っていましたが、令和3年12月31日をもって延長貸付の制度はなくなり、また、特例貸付に関する問い合わせも非常に多く相談員数名で対応を行い、貸付申請や生活困窮事業所など関係機関に繋ぎ連携して支援を行いました。

【特例貸付】 ※R2.3.25～R4.3.31時点（支所含む）

* 申請者数(延べ) 458名 (84,150,000円)
 緊急小口資金 801名 (423,700,000円) ※延長貸付を含む
 総合支援資金 1,259名 (507,850,000円)

* 申請者数(実人数) 432名

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

⑤フードバンク事業（貸付事業サービス区分）

《 会費収入 5,000円 共同募金配分金 25,000円 決算額 30,000円 》

フードバンク事業では、生活に困窮し日々食の確保に困る人たちを対象に、住民からの寄付や関係機関から寄せられる食料品を無償で提供してあり、福祉事務所や市内の社会福祉法人でも食料品の受け入れ窓口として協力をいただいています。
 地域住民から寄せられる生活困窮者等の一般相談について、当事業と合わせて必要な場合は、他の社協事業や生活困窮者自立支援事業所、福祉事務所と連携を図り、潜在化しがちな生活困窮者のニーズへ早期に対応できる体制を取っています。
 また、今年度より社協会費や共同募金の財源を元に食材や整理用のキャビネットを購入した他、通年のフードバンク事業に加え、コロナで影響を受けた生活困窮者等への食材の提供を行いました。

フードバンク寄付 実績数

受付先	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
	延べ件数	重量換算	延べ件数	重量換算	延べ件数	重量換算	延べ件数	重量換算
社協	17件	276.80 kg	36件	696.30 kg	71件	521.15 kg	64件	739.50 kg
四社連					18件	141.00 kg	11件	776.40 kg
FDキャンペン	9件	397.80 kg	9件	108.80 kg	29件	209.80 kg	23件	639.10 kg
合計	26件	674.60 kg	45件	805.10 kg	118件	871.95 kg	98件	2,155.00 kg

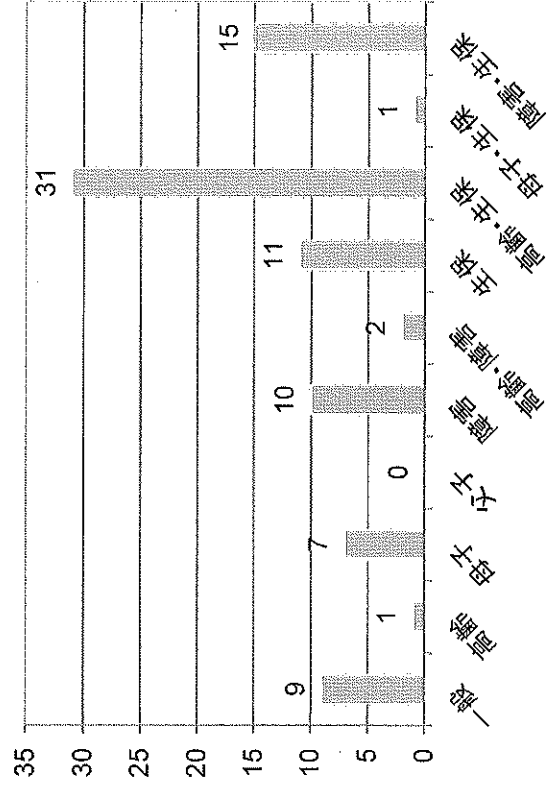
フードバンク提供 実績数

個人 施設	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	計(延べ)	92件 1件	81件 1件	77件 0件
	93件	81件	77件	100件

※令和3年度は、コロナ影響の困窮ひとり親世帯21世帯へ食糧支援

【フードバンク提供(世帯別)】

世帯	件数
一般(困窮)	9件
生保	11件
高齡・生保	31件
母子・生保	1件
父子	15件
障害	10件
(生保)計	58件
ホームレス	2件
高齡・障害	87件



2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

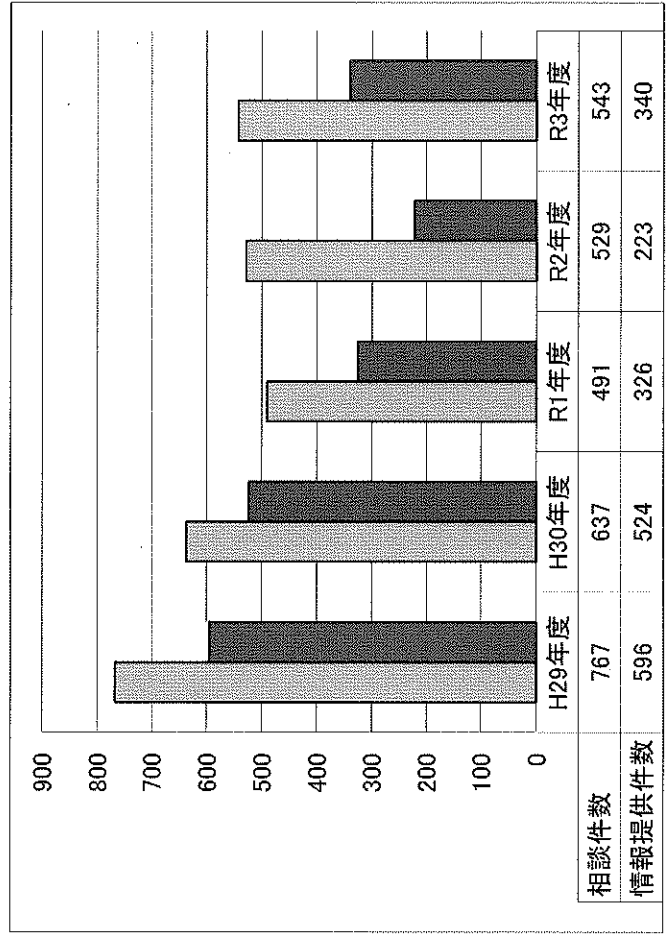
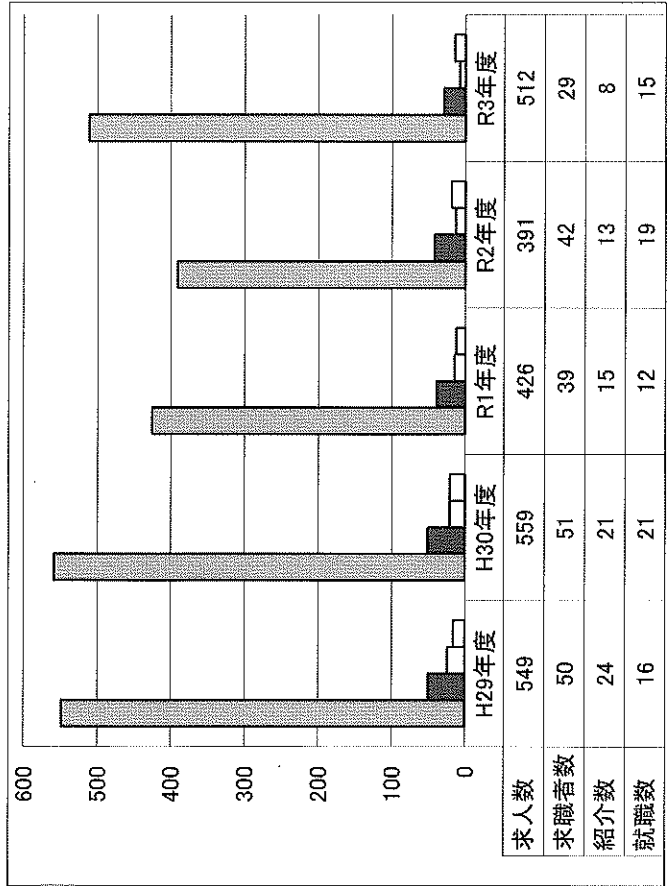
⑥福祉人材バンク事業（福祉人材バンク事業サービス区分）〈契約1名兼務〉

《 県社協受託金 2,762,343円 その他の収入 15,550円 決算額 2,777,893円 》

無料職業紹介事業では幡多6市町村と四万十町を管轄区域として、求職登録者が希望する求人に応じて福祉・介護の職場へとつなぎました。平日は常時窓口での相談を行い、広報誌や街頭広報での周知、関係機関との連携により登録者の確保と求人情報の提供を行いました。また、ハローワーク主催のいかいご面接・相談会や、高知県福祉人材センター主催のふくし就職フェアへの応援も行いました。さらに、四万十市内の事業所が介護助手導入事業所となったため高知県福祉人材センターと共同で支援を行いました。

福祉人材養成事業としては、介護支援専門員模擬試験や、介護福祉士模擬試験・受験対策講座を開催しました。また窓口相談等で資格取得方法や講習先情報等の提供も行いました。変わらず介護・福祉人材の確保は喫緊の課題である為、今後は更なる福祉・介護の新規求職登録者の確保と、潜在有資格者の掘り起こしに取り組み、併せて高知県福祉人材センターと連携し、高校での保育・介護セミナーや介護職のPRを行っていきます。

【福祉人材養成事業】介護支援専門員模擬試験…1回9名受験、介護福祉士模擬試験…1回18名、受験対策講座…1回14名
 【啓発広報事業】社協だより掲載…4回 商業施設での街頭広報…3回（四万十市2回、土佐清水市1回）
 【運営委員会開催】令和4年3月15日 運営委員8名参加



2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

⑦福祉・介護人材マッチング機能強化事業（福祉人材バンク事業サービス区分）〈職員1名兼務〉

《 県社協受託金 3,289,000円 市補助金 3,102,000円 サービス区分間繰入金収入 50,000円 決算額 6,441,000円 》

幡多人材バンクにおけるマッチング機能の強化及び施設・事業所における職員の定着促進を目的として、求職者への支援や施設・事業所への助言を行いながら、対象者に応じた細やかなマッチングの実施や就職後のフォローアップ、働きやすい職場づくりへの支援等を行ってきましたが、昨年度よりは良くなったものの新型コロナウイルスの影響で事業所訪問が思うようにできませんでした。

ハローワークセミナーについては毎月開催することができ参加者数は増加しましたが、就職に結びつくことなく人材確保が非常に難しくなっています。

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	備考
延訪問件数(件)	45	50	23	7	33	
訪問日数(日)	23	23	17	5	11	
ハローワークセミナー開催(回)	12	12	10	7	12	
延参加者(人)	57	30	52	14	47	
延福祉職場体験者(人)	6	5	5	4	0	

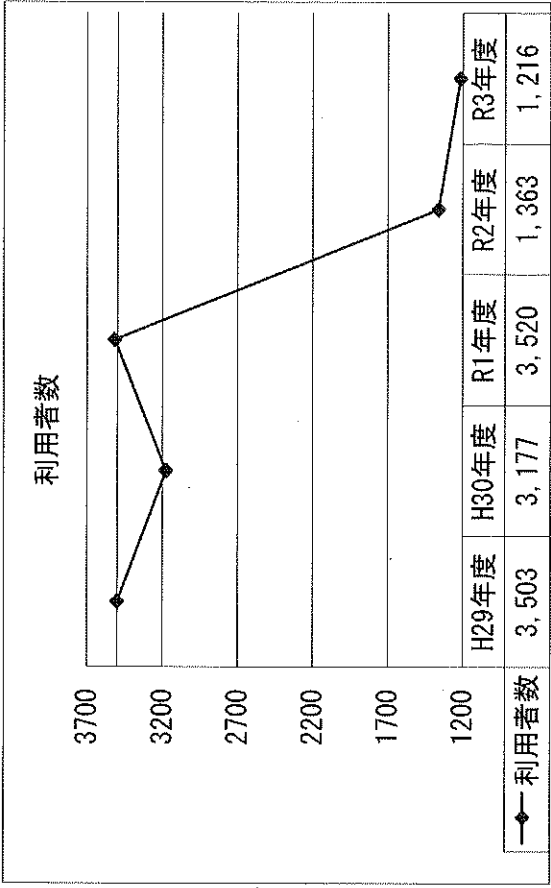
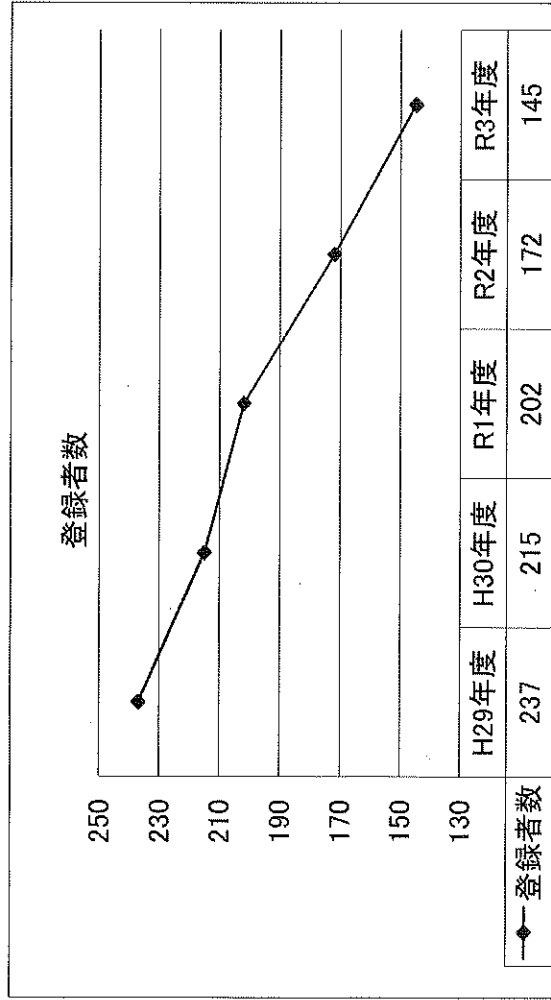
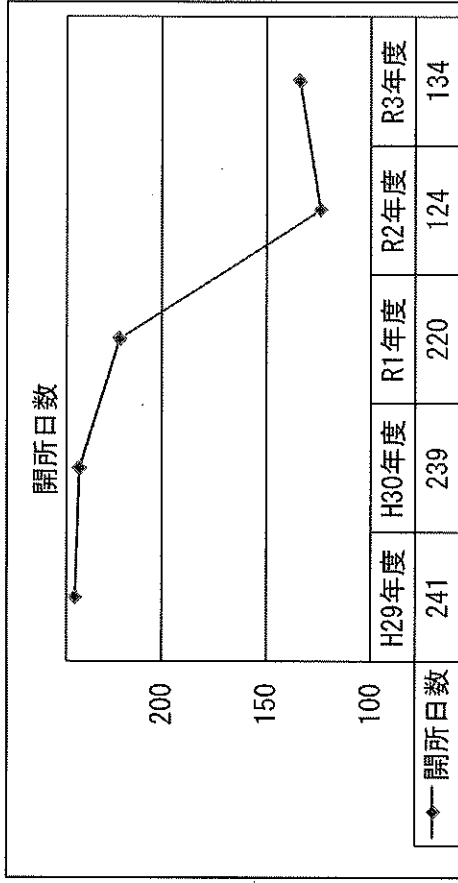
3.在宅福祉サービスの充実

①高齢者はつつサービス事業（はつつサービス事業サービスクラス区分＜職員1名 再雇用職員1名 パート1名＞）

《 市受託金 3,769,600円 市補助金 2,785,000円 利用料 972,800円 サービス区分間繰入金収入 960,000円 決算額 8,487,400円 》

介護保険非該当の利用者（65歳以上の高齢者）に対し、健康チェックや創作活動、レクリエーション、日常生活用品の買出しなどのサービスクラスを提供し、高齢者が楽しく生きがいをもてるよう事業を実施しました。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で8月31日～9月9日まで休止になりました。利用者やその家族の方が心配してデイの利用を休む方が多くいました。

小学校との交流も今年も中止となりましたが、生徒さんから手作りのマスクケースを頂きました。利用者数は毎年減少していて、3月31日現在で145人平均年齢は85.8歳になっています。



3.在宅福祉サービスの充実

②通所型サービスC事業

(はつらっデザイナーサービス区分)

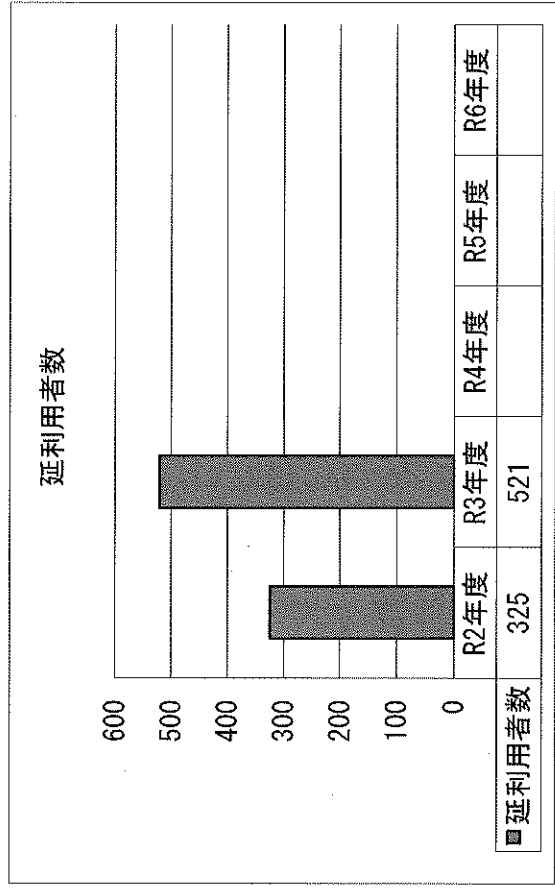
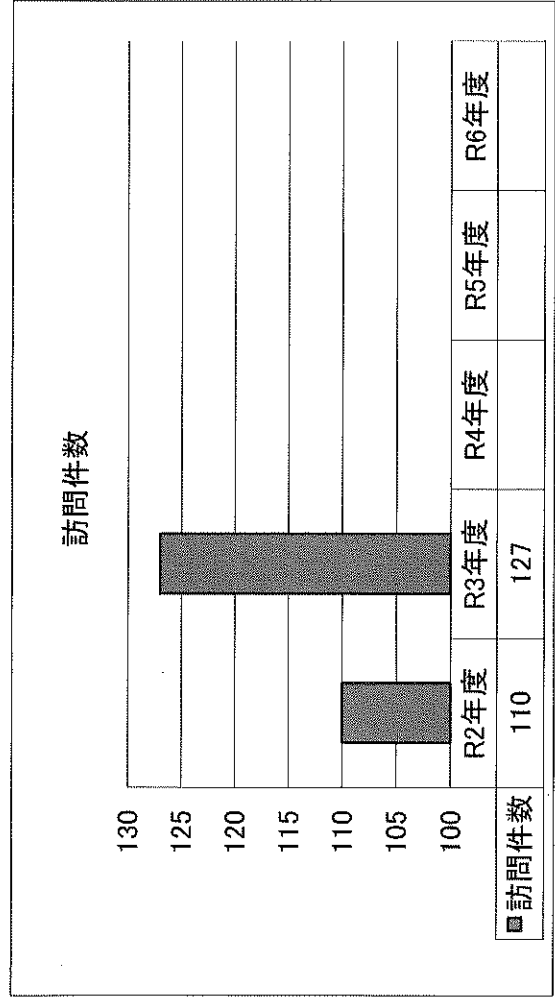
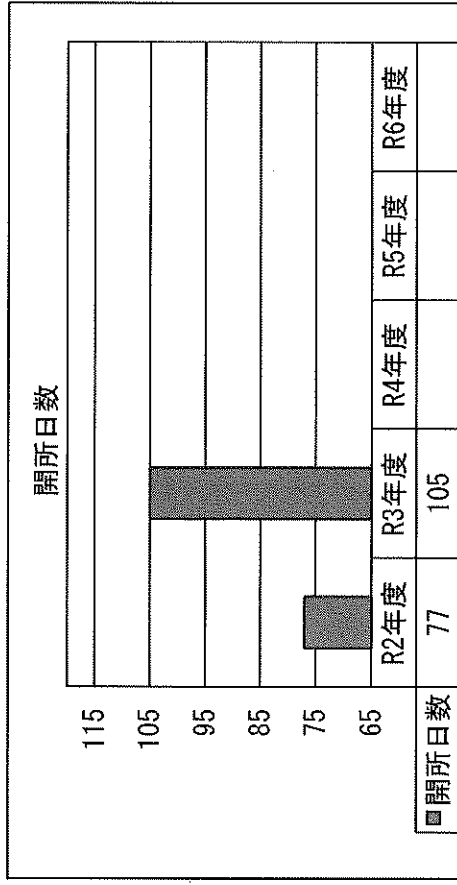
〈他業務と兼務 職員 1名 再雇用 1名〉

《 市受託金 6,758,774円 利用料 156,300円 決算額 6,915,074円 》

昨年度7月より、「できないことができるように、できることはもつとできるように」をモットーに、下肢筋力をきたえる運動を中心に行う他、体調を自己管理する力も共に学習する事で、1クール3ヶ月の卒業後も自立した生活を維持していき、実施してきました。

今年度からは、1クール7名までの受入れをする事に伴い、従事する職員は3名になっています。ほぼ全ての利用者に身体機能的な改善がみられ、卒業後に地域活動や、他の介護予防事業へつながった方もいました。今後も利用者の自立促進や重症化予防の解決の一助となるよう努めて参ります。

・利用者実数 22名



3.在宅福祉サービスの充実

③まちなかサロン（社会福祉事業サービス区分）

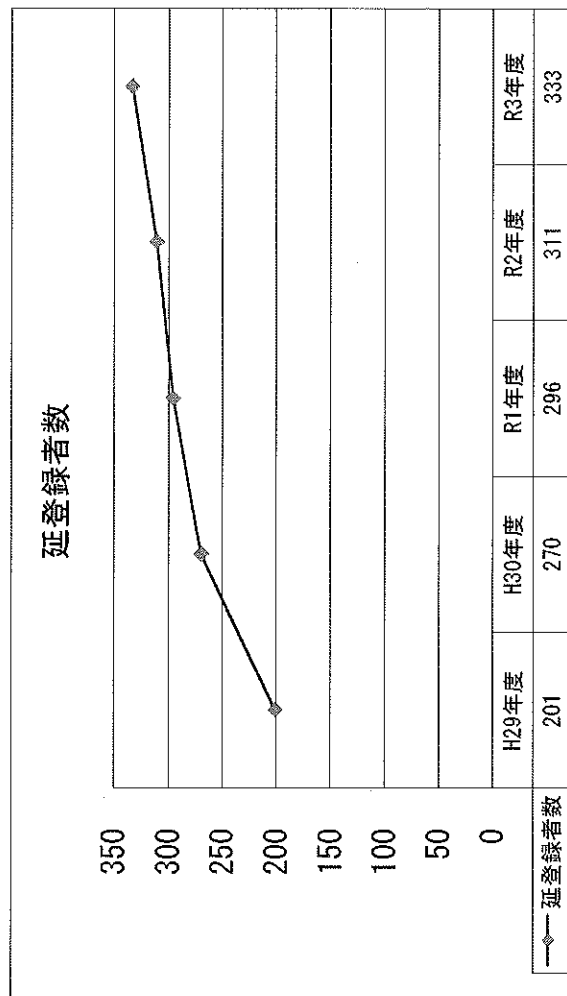
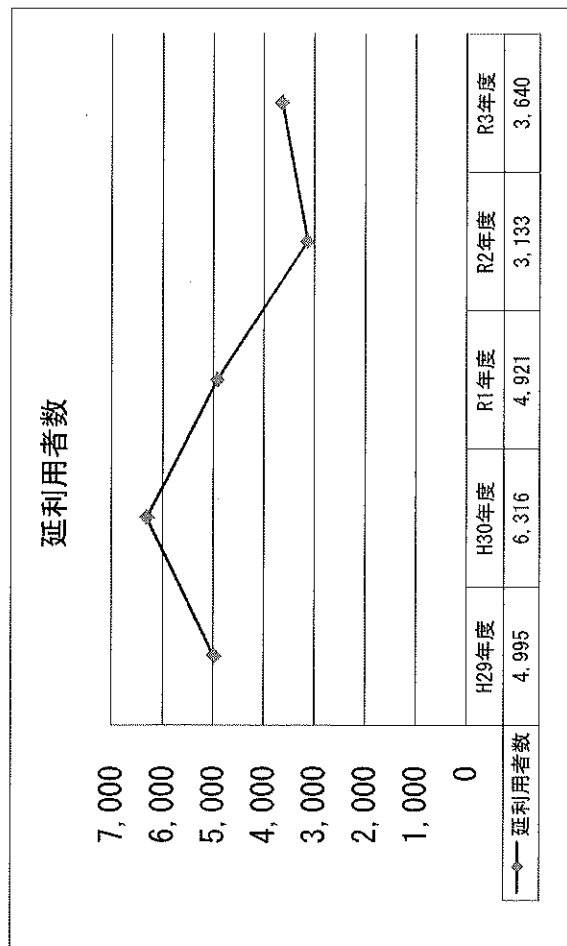
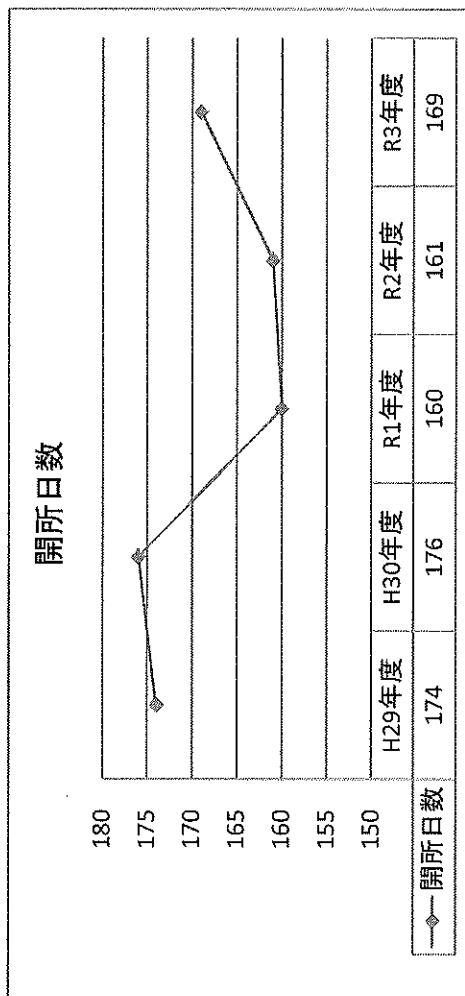
〈他業務と兼務 職員1名 パート職員4名〉

《 市受託金 3,059,741円 利用料収入 349,600円 決算額 3,409,341円 》

65歳以上の高齢者の方を対象に、自主的な介護予防、生きがいづくりの推進を目的に、いつでも・気軽に・誰もが・自由に出入りできる集いの場を提供しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応で、8月30日から9月10日迄事業は休止してまいりました。再開後は、感染症防止の為に環境整備や3密にならないように注意しながら、参加者の体調確認等を行い実施してまいります。介護予防体操を中心に、利用者の希望に応じてカラオケ、卓球等の他、うたごえサロン・俳句会等のイベントも感染予防に気をつけながら開催しました。

利用者が固定化傾向にあることから、新規利用者への呼びかけのため、チラシを作り市役所や病院等に配布したり、民生委員の方々等にPR活動をしてきましたが、次年度も引き続き、広報等やPR活動を行う予定です。



3.在宅福祉サービスの充実

④訪問入浴事業（介護保険事業サービス区分）

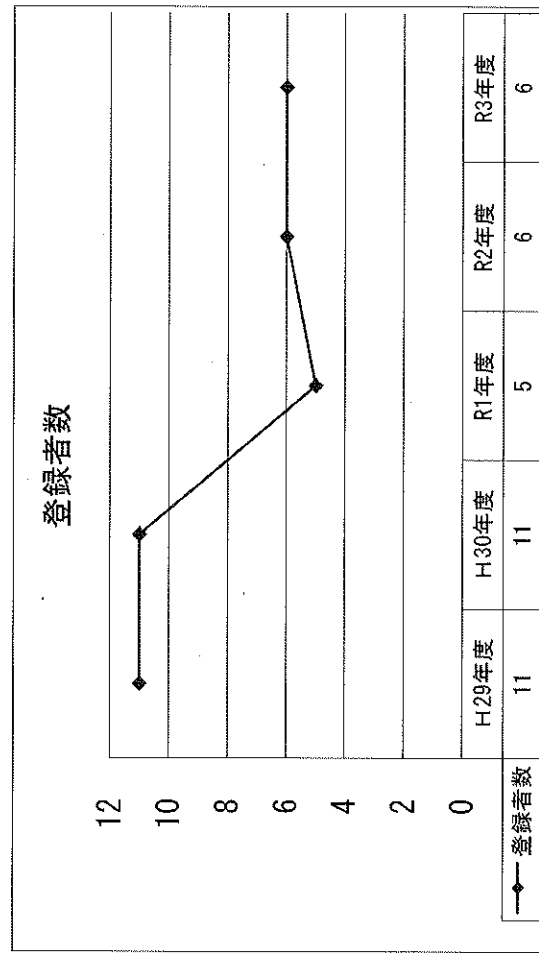
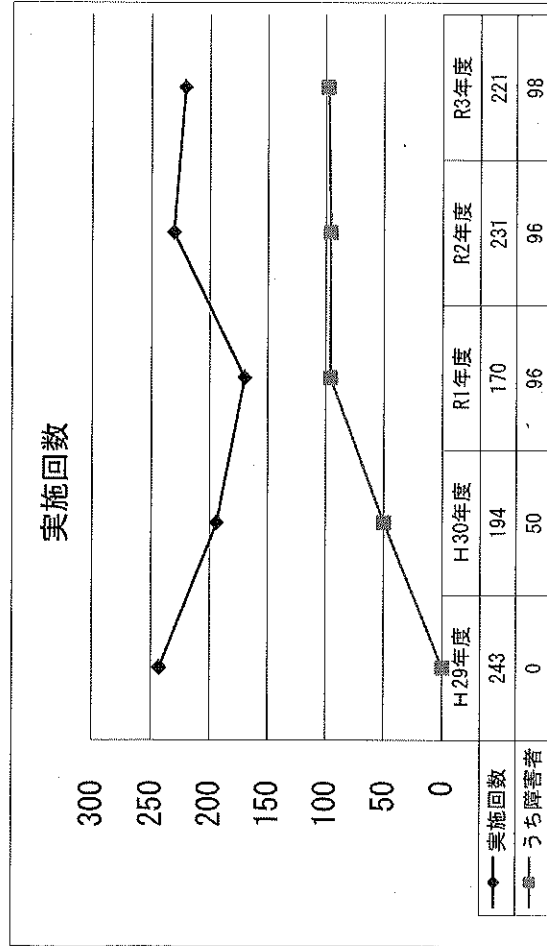
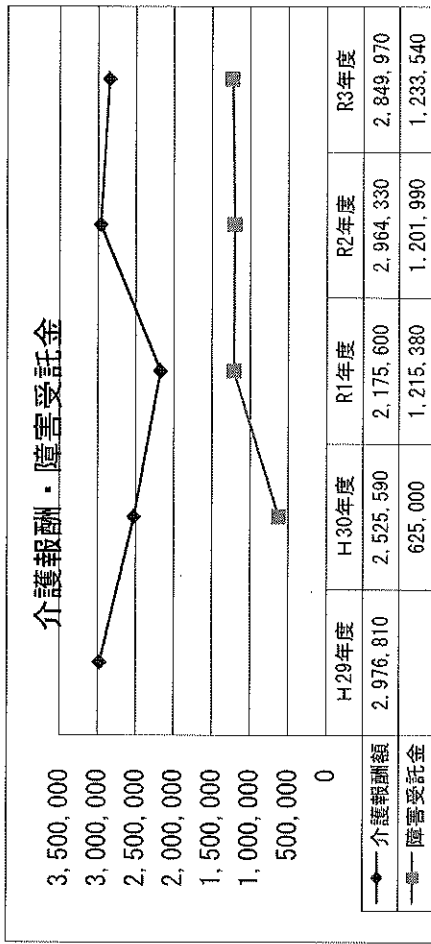
《介護保険事業収入 2,849,970円 市補助金 2,024,000円 身体障害者事業受託金収入 1,233,540円 決算額 6,107,510円》

在宅で寝たきりの方等に対し、訪問して浴槽を設置し、入浴サービスを提供しています。利用者だけでなく、介護されている家族へのメンタル面での配慮等、介護負担を軽減するようなコミュニケーション等を行い、安心・安全を心がけて週2回（火・金曜日）サービスを提供しています。

介護保険では、施設入所や入院で減少傾向であり、昨年度に比べ減額しております。障害福祉サービスの利用は定着し、安定してサービスを提供しております。

- ・介護保険サービス実利用者実数 3名
- ・障害福祉サービス " 1名

〈職員1名兼務 パート2名〉



3.在宅福祉サービスの充実

⑤障害者支援センター事業（障害福祉事業サービス区分）

〈職員1名〉

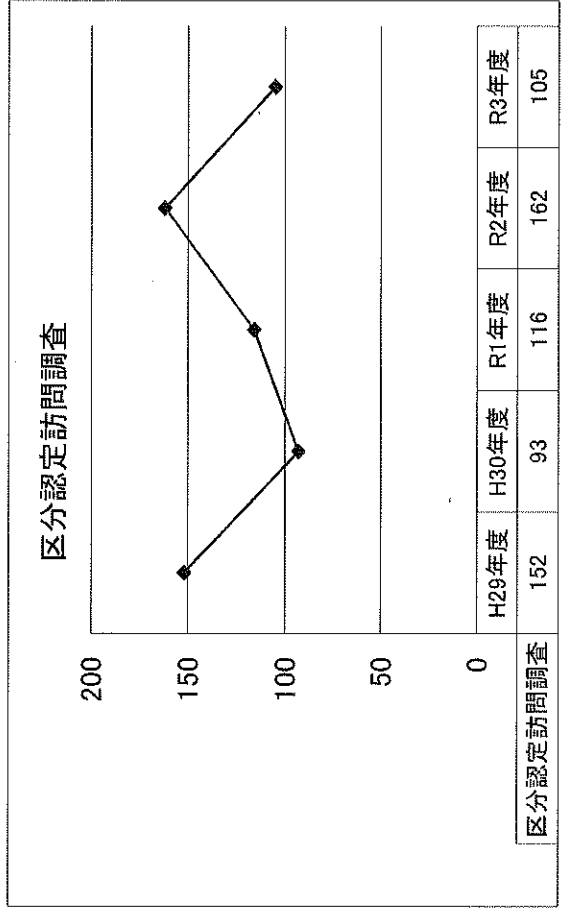
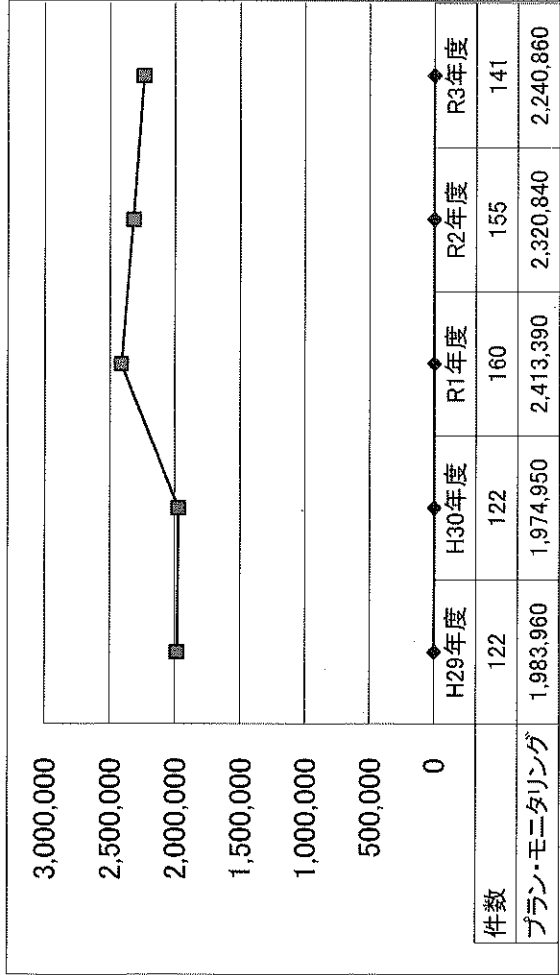
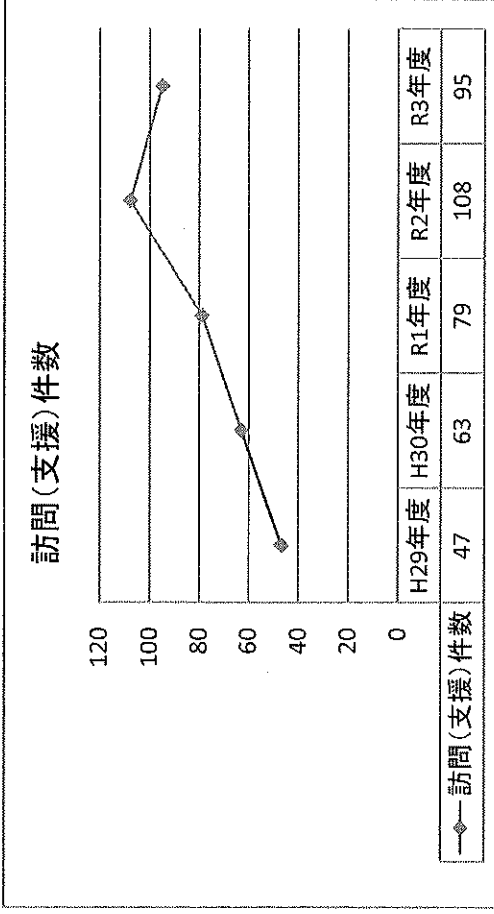
《市受託金 4,626,358円 障害支援区分認定調査 577,500円 サービス計画報酬 2,240,860円 決算額 7,444,718円》

支援センター業務として、電話や来訪、訪問等で身体、知的、精神障害者、又はその家族からの生活相談に応じ、申請の代行や関係機関につながる等の連絡調整、支援困難ケースにおいては同行等の直接的支援を行なっております。また、四万十市から委託を受けて障害支援区分認定調査を依頼に応じて実施しております。

相談支援事業所として、障害福祉サービスを利用するために必要なサービス利用計画の作成や調整、定期的なモニタリング（計画の見直し）等を行っております。

業務の実施について、コロナ感染症の影響で面会制限や電話での聞き取り等で行うことになりましたが、相談者や認定調査依頼は多くあり、例年通りの件数を行いました。

- ・令和3年度相談支援事業所新規契約者 12名
- ・サービス利用終了・休止 9名
- ・令和3年度3月末実質利用者 67名



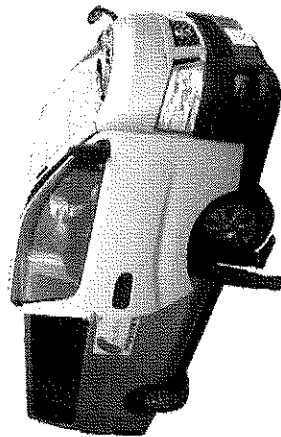
4.法人運営と地域福祉計画の推進

①四万十市社会福祉法人連絡会（四社連）の状況（地域福祉活動サービズ区分）

H28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本旨から導かれる本来の役割を明確にするため、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。四万十市においても社協が事務局となり、四万十市社会福祉法人連絡会（四社連）を設置し、定期的な連絡会により公益的な取組みを推進しています。

R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から連絡会を予定通り開催することができず、2回の開催となっております。以前から連絡会の中で検討していた買い物支援の取組みについて、大用地区を対象に社協が試行的に2回実施しました。また、各法人や市役所でもフードバンクの受入れ先に加わったことで、例年以上に多くの食糧の寄付をいただけています。

来年度より、各法人から定額の会費をいただき、事業費に充てていくことになったことで、事業の幅も広がります。今後も、各法人の有する設備や専門性を活かした公益的な取組みを推進してまいります。



6月12日

買い物困難地域への買い物支援

9:40 受付開始

10:10 受付開始

11:00 受付終了

11:30 受付終了

11:45 受付終了

080-2970-4994 (社協事務局)

▼四万十市社会福祉法人連絡会（15法人）

障害分野	あゆみ福祉会
	一条協会
	高知県知的障害者育成会
	幡多手をつなぐ育成会
	ほっとハート
高齢分野	黒潮福祉会
	南海福祉会
	西土佐福祉会
	橘の木福祉会
	愛生福祉会
児童分野	栄光会
	ひかり会
	めぐみ会
	ゆめのき
社協（事務局）	四万十市社会福祉協議会
オプザーバー	四万十市福祉事務所
アドバイザー	高知県社会福祉協議会

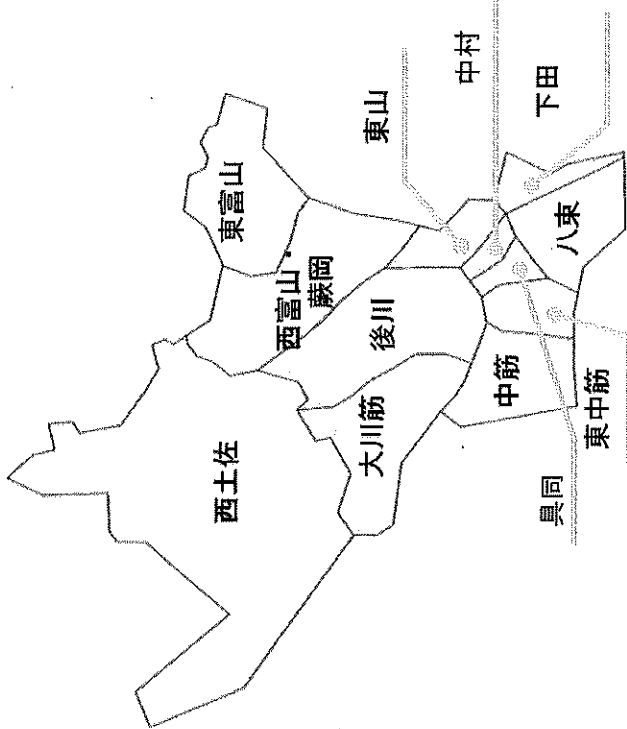
4.法人運営と地域福祉計画の推進

②第3期四万十市地域福祉計画の進捗状況等（地域福祉活動サービズ区分）

R2年4月に策定した四万十市地域福祉計画を着実に進めていくため、市内を12圏域に分けた地域座談会を設置しています。R3年度は計13回の座談会の実施、延べ158名の地域住民の方に参加してもらっています。

新型コロナウイルス感染症の影響により座談会の中止が相次ぎ、予定通り開催できず、東富山地域では、「大用保・小・中・地域合同秋季運動会」に地区対抗の競技を追加してもらい、世代間・地区間交流を行うことができました。東山地域では、「東山地区夏休み子ども教室」を企画しましたが、コロナの影響拡大により中止となっています。その他、八東地域、東中筋地域では地域の困り事調査を実施、実際のニーズを把握し、活動に繋げていきます。その他の地域からもユニークなアイデアが出されており、引き続き地域座談会の取り組みを通して、地域の実態に即した多様な小地域福祉活動（支え合い活動やふれあいの機会づくり等）の創出を推進していきます。

▼地域座談会の圏域設定



▼R3年度地域座談会の参加者の状況

圏域	第1回	第2回	第3回	計
中村	14名	14名	-名	28名
下田	-名	-名	-名	0名
東山	10名	-名	-名	10名
具同	14名	13名	-名	27名
東中筋	11名	-名	-名	11名
後川	7名	-名	-名	7名
八東	11名	-名	-名	11名
西富山・藤岡	-名	-名	-名	0名
中筋	13名	-名	-名	13名
東富山	10名	16名	12名	38名
西土佐	13名	-名	-名	13名
計	162名	103名	13名	158名

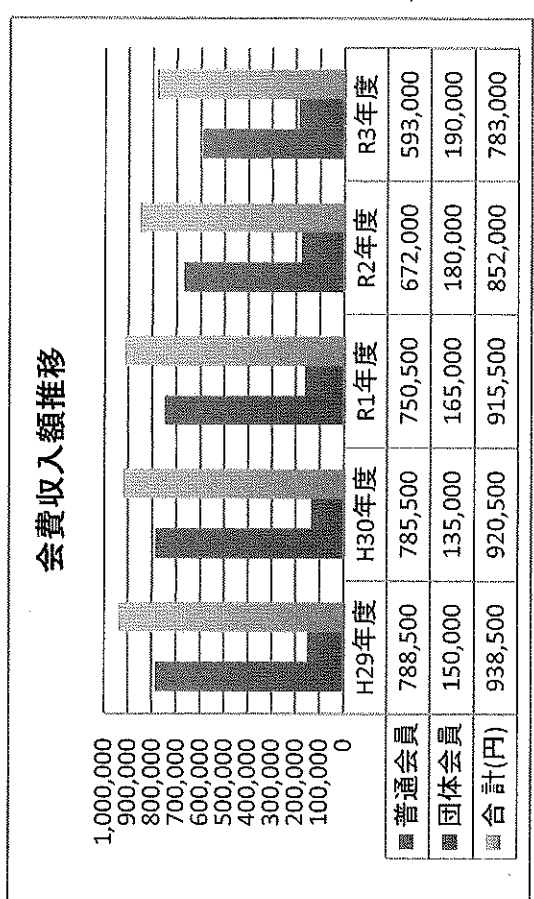
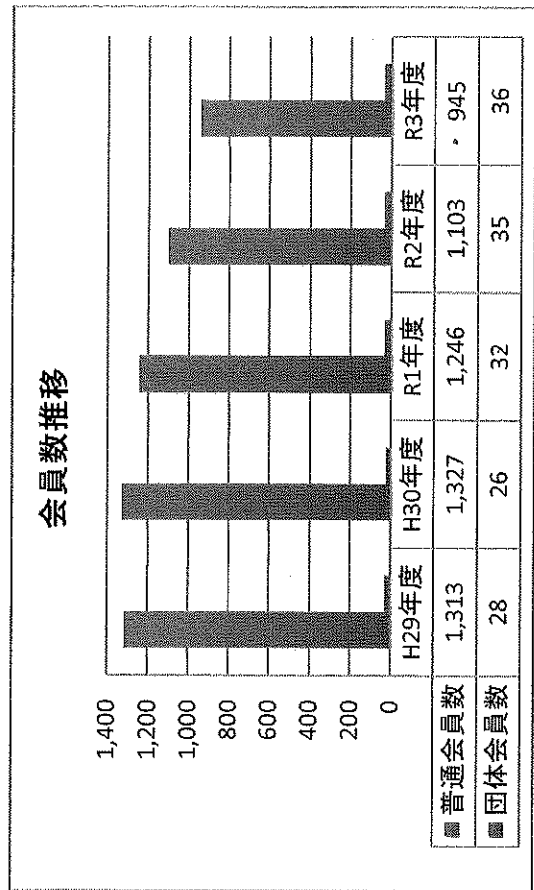
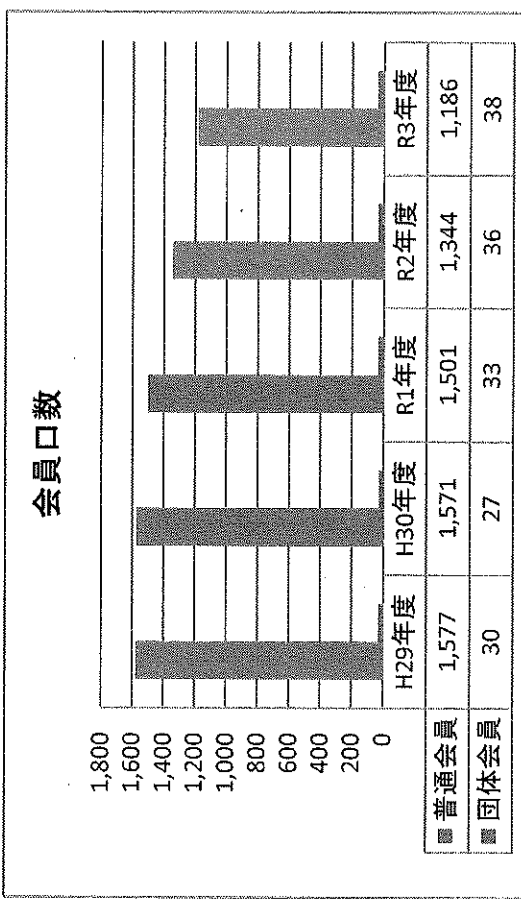
4.法人運営と地域福祉計画の推進

③社協会員加入状況（法人運営サービス区分）

《 会費収入額 783,000円 》

関係機関をはじめボランティアや民生委員へ協力を依頼するとともに、社協だよりによる呼びかけを行い会員の加入促進を行いました。
長年に渡り地区の会費徴収は、民生委員に協力頂いておりましたが、多忙なことから今年度からお願しいしておりません。結果として前年度より団体会員は増加したものの、普通会员が158人を下回り、唯一の自主財源である会費が減少し非常に苦しい状況となりました。

年々普通会员数が減少傾向にあり、経済状況や社協会員の周知不足が原因として考えられますが、会員を増やすための検討を引き続き行っていきます。



4.法人運営と地域福祉計画の推進

④社会福祉事業（法人運営サービス区分他）

事業経営方針・改正された定款に基づき、理事会、評議員会、各種運営委員会を開催しました。
以下が会議の状況となっております。

月日	会議内容等	場所
5月25日	【令和2年度社協監査】会長・監事2名・事務局2名 計5名	福祉センター
6月4日	【第1回理事会】理事8名・監事2名・事務局5名 計15名 ①令和2年度第2次補正予算について ②令和2年度事業報告及び法人会計決算について ③令和3年度第1次補正予算について ④評議員選任・解任委員会の選任について ⑤次期評議員の候補について ⑥評議員選任・解任委員会の招集について ⑦評議員会の招集について ⑧苦情解決に関する第三者委員の選考について 報告事項 ①各種基金等の状況について ②社会福祉充実計画について	福祉センター
6月9日	【第1回評議員選任・解任委員会】委員3名・事務局2名 計5名 ①評議員の選任について	福祉センター
6月21日	【第1回評議員会】評議員9名・理事1名・監事1名・事務局2名 計13名 ①令和2年度第2次補正予算について ②令和2年度事業報告及び法人会計決算について ③令和3年度第1次補正予算について ④役員（理事・監事）の選任について 報告事項 ①社会福祉充実計画について	福祉センター
6月21日	【第2回理事会】理事9名・監事2名・事務局2名 計13名 ①会長・副会長の選定について 報告事項 ①今年度の理事会等の日程について	福祉センター
6月26日	【小口生活資金貸付事業運営委員会】委員4名・事務局3名 計7名 ①委員長の互選について ②令和2年度の資金貸付状況等について ③令和4年度の貸付限度額の設定について ④徴収不能者の対応について	福祉センター
6月30日	【成年後見事業運営委員会】委員5名・事務局4名 計9名 ①令和2年度事業報告及び現在の状況等について ②個別課題への対応について	福祉センター
9月9日	【第3回理事会】理事9名・監事2名・事務局5名 計16名 報告事項 ①職務の執行状況について ②生活福祉資金コロナ特別貸付状況について ③令和3期地域福祉計画（座談会）について ④西土佐地域福祉健康講座について 協議事項 ①社協会章の徴収方法等について	福祉センター
10月20日	【配食サービス事業運営委員会】委員4名・事務局4名 計8名 ①委員長の互選について ②令和2年度・令和3年度上半期の要領について ③事業運営の見直しについて	福祉センター 多目的デイケアセンター「一乗の里」
12月10日	【第4回理事会】理事7名・監事2名・事務局4名 計13名 報告事項 ①職務の執行状況について ②社協会章の徴収方法等について ③令和4年度新規事業について ④生活福祉資金コロナ特別貸付状況について ⑤地域福祉計画の進捗状況について ⑥職員退職に伴う採用試験について	福祉センター
12月18日	【第5回理事会】理事9名・監事2名・事務局4名 計15名 ①令和3年度法人会計第2次補正予算について ②令和4年度事業計画及び法人会計予算について ③評議員会の招集について ④役員評議員の推薦について ⑤評議員選任・解任委員会の招集について 報告事項 ①職務の執行状況について ②役員・評議員・職員研修会の結果等について ③職員の人事異動について	福祉センター
3月23日	【第2回評議員選任・解任委員会】委員3名・事務局2名 計5名 ①評議員の選任について	福祉センター
3月25日	【第2回評議員会】評議員9名・理事1名・事務局2名 計12名 ①令和3年度法人会計第2次補正予算について ②令和4年度事業計画及び法人会計予算について 報告事項 ①役員・評議員・職員研修会の結果等について ②令和4年度評議員等の日程について ③職員の人事異動について	福祉センター

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑤社会福祉事業（法人運営サービス区分他）

役員等の資質向上のため、下記のとおりオンライン受講も取り入れ研修会等へ参加しております。また、初めての試みとして役員・評議員・職員・職員の合同研修を開催し、それぞれの立場から意見を聞くことができ実りある研修会となりました。

月	日	研修等名称	市町村名	場所	参加者数
4	7	第1回チャーム会	四万十市	社会福祉センター	5
	21	障害支援区分認定調査員新任研修	高知市	保健衛生総合庁舎	1
	22~23	職業紹介責任者講習	高松市	高松センタービル	1
	28	日常生活自立支援事業専門員初任者研修	高知市	ふくし交流プラザ	1
5	12	コミュニケーションソーシャルワーカー養成研修第1回企画会	"	"	1
	12	第2回チャーム会	四万十市	社会福祉センター	5
	12	第1回職員会	"	"	12
	17	地域福祉計画・地域福祉活動研修会	"	"	4
	31	第1回業務連絡会	"	"	6
6	5	事業所向け研修会	四万十市	市役所	2
	6	フレイル予防講演会	"	"	3
	16	コミュニケーションソーシャルワーカー養成研修スタートアップ研修	高知市	ふくし交流プラザ	1
	21	介護助手スタートアップセミナー	四万十市	社会福祉センター	1
	23	安全運転管理者等講習	黒潮町	ふるさとの総合センター	1
	30	第1回四万十市社会福祉法人連絡会（四社連）	四万十市	社会福祉センター	3
	5	人権ふれあい講座	四万十市	文化センター	1
	7	第3回チャーム会	四万十市	社会福祉センター	5
	7	第2回職員会	"	"	12
	10	四国地域福祉実践セミナー	宿毛市	社会福祉センター他	13
7	13	これからあんしんサポート事業ヒアリング	高知市	総合あんしんセンター	2
	14~16	職業紹介責任者講習	大阪市	ホテルアウイーナ大阪	2
	20	コミュニケーションソーシャルワーカー養成研修スタートアップ研修	高知市	ふくし交流プラザ	1
8	4	コミュニケーションソーシャルワーカー養成研修スタートアップ研修	"	"	1

月	日	研修等名称	市町村名	場所	参加者数
8	6	第1・2回ひきこもり支援に関する研修会	高知市	ちより街テラス	2
	12	第4回チャーム会	四万十市	社会福祉センター	5
9	24	スポーツハブ促進委員会	四万十市	武道館	1
	6	第2回業務連絡会	四万十市	社会福祉センター	6
	8	第3回職員会	"	"	12
	9	地域ケア会議研修会	"	"	2
	26	ポッチャヤ審判員養成講習会	高知市	廣善者スポーツセンター	1
10	27	生活支援コーディネーター研修	四万十市	社会福祉センター	2
	29	地域福祉推進セミナー	"	"	7
	30	社会福祉主事資格認定通信課程（令和2年10月～）	自宅		1
	5	フレイル予防講演会	四万十市	文化センター	2
	6	災害時の心のケア活動オンライン研修会	四万十市	社会福祉センター	2
	6	第5回チャーム会	"	"	5
	22	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ	"	"	1
	26	第2回四社連	"	"	3
	28	第1回総務・会計部会	高知市	ふくし交流プラザ	1
	29~30	コミュニケーションソーシャルワーカー実践研修	高知市	ソーレ他	1
11	2	成年後見利用促進セミナー	四万十市	社会福祉センター	1
	4	重層的支援体制整備事業の実施状況の視察及び研修	宇和島市	市役所	2
	5	ゴム体操教室講師	高知市	大津ふれあいセンター	1
	8	四国ブロック福祉人材センター研究協議会・マッチング機能強化研修	四万十市	社会福祉センター	1
	10	四国ブロック市町村社協研究協議会	"	"	1
10	第6回チャーム会	"	"	5	

4.法人運営と地域福祉計画の推進

月	日	研修等名称	市町村名	場所	参加者数
11	10	第4回職員会	四万十市	社会福祉センター	13
	13	幡多地域医療連携フォーラム	四万十市	市役所	1
	18~19	強度行動障害支援者養成研修	四万十市	一条の里	1
	29	日常生活自立支援事業専門員研修会	高知市	ソーレ	1
	4	役員・評議員・職員研修	四万十市	一条の里	31
	6	社会福祉法人公益的な取組推進フォーラム	高知市	新阪急	1
	6	社会福祉法人公益的な取組推進フォーラム	四万十市	社会福祉センター	2
	8	第3回業務連絡会	"	"	6
	21	コミュニケーションソーシャルワーカー実践研修	高知市	ソーレ	2
	12	相談支援従事者現任研修	高知市	ふくし交流プラザ	2
	18	第7回チャーム会	四万十市	社会福祉センター	5
1	19	第5回職員会	"	"	12
	21	監事とのコミュニケーション	高知市	ふくし交流プラザ	1
	25	視覚障害者基礎講座	四万十市	社会福祉センター	2
	26	地域の見守り、支えあいの仕組みづくり研修会	"	"	2
	3	高知県地域福祉活動支援計画推進委員会	"	"	1

月	日	研修等名称	市町村名	場所	参加者数
2	7	日常生活自立支援事業幡多ブロック専門員連絡会	四万十市	社会福祉センター	1
	8	第8回チャーム会	"	"	5
	9	地域生活定着センター地域福祉研修	"	"	3
	18	高齢者こころのケアサポーター養成研修	"	"	3
	14~15	強度行動障害支援者養成研修	四万十市	一条の里	3
	19~20	社会福祉士実習指導者講習会	四万十市	社会福祉センター	2
	28	災害ボランティアセンター所長予定者会議	"	"	1
	3	視覚障害者基礎講座	四万十市	一条の里	1
	8	福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」	四万十市	社会福祉センター	4
	9	地域づくりコーディネーター研修	"	"	2
	9	第6回職員会	"	"	12
3	11	フジワードドキュメント	"	"	1
	14	第4回業務連絡会	"	"	6
	14	市町村社協職員基礎研修	高知市	ふくし交流プラザ	1
	22	法人後見担当者連絡会	四万十市	社会福祉センター	2

延参加者数 279

その他、打ち合わせをはじめ担当者や報告会、ケース検討会など、会議や各種団体の定例会などにも多く出席しています。

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑥指定管理者施設運営事業（指定管理者施設サービス区分）

四万十市多目的デイケアセンター 「一条の里」

《 市受託金収入（指定管理料） 決算額 2,007,620円 》 《正職員1名兼務》

多目的デイケアセンター「一条の里」で行っている事業については、次のとおりで各実績については前述のとおりです。

- ① 配食サービス事業
- ② まちなかサロン事業
- ③ はつつつデイサービス事業
- ④ 通所型サービス事業
- ⑤ 障害者支援センター事業（相談支援事業）

⑥ 四万十子ども食堂（第2土曜日）年間9回 子ども278人・大人404人・ボランティア105人 計787人
年間13回予定（コロナ4回） テイクアウト方式

四万十市総合福祉センター

《 市受託金収入（指定管理料）決算額 797,285円 》 《正職員1名兼務》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議研修室	2	3	2	6	7	1	12	8	8	4	1	7	61
福祉関係事務室	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
応接室・相談室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休憩室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	4	3	2	6	7	1	12	9	8	5	2	8	67

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑦公益事業 (福祉センター管理運営サービス区分)

四万十市社会福祉センター利用状況

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室I			研修室II			小計			利用 合計	開 館 日	貸 出 能 力 数	利用割合				空 室 率 %	R2年度利用割合				空 室 率 %					
	普通	免除	減額	普通	免除	減額	普通	免除	減額	普通	免除	減額	普通	免除	減額	普通	免除	減額				普通	免除	減額	合計		普通	免除	減額	合計		普通	免除	減額	合計	
4	3	8	3	21	8	4	57	2	1	9	4	8	13	11	1	103	0	33	17	153	30	450	22.9%	0.0%	7.3%	3.8%	66.0%	1.1%	2.9%	0.7%	1.9%	2.9%	4.0%	96.0%		
5	3	13	2	12	5	31	12	1	1	12	3	5	11	9	69	1	30	8	108	31	465	14.8%	0.2%	6.5%	1.7%	76.8%	0.7%	1.9%	0.7%	1.9%	2.2%	32.7%	67.3%			
6	2	5	2	4	1	3	16	2	1	2	1	3	3	2	25	4	7	7	43	30	450	5.6%	0.9%	1.6%	1.6%	90.4%	20.9%	8.9%	0.7%	2.2%	32.7%	67.3%				
7	7	2	13	2	8	4	50	3	1	11	10	4	9	8	10	93	4	42	21	160	31	465	20.0%	0.9%	9.0%	4.5%	65.6%	19.8%	5.2%	1.9%	3.4%	30.3%	69.7%			
8	3	2	11	1	3	1	38	1	8	8	6	3	10	5	4	70	3	26	9	108	31	465	15.1%	0.6%	5.6%	1.9%	76.8%	18.7%	11.4%	0.2%	4.1%	34.4%	65.6%			
9	2	1	5	11	1	5	41	10	6	10	6	11	11	4	8	75	2	20	8	105	30	450	16.7%	0.4%	4.4%	1.8%	76.7%	23.1%	6.0%	1.3%	4.7%	35.1%	64.9%			
10	14	1	13	2	20	1	56	17	3	17	11	1	13	9	11	120	3	43	16	182	31	465	25.8%	0.6%	9.2%	3.4%	60.9%	24.3%	11.6%	1.9%	4.5%	42.4%	57.6%			
11	12	14	1	20	1	6	52	11	2	11	4	6	21	8	3	116	5	36	20	177	30	450	25.8%	1.1%	8.0%	4.4%	60.7%	27.8%	9.6%	1.8%	5.8%	44.9%	55.1%			
12	8	4	14	2	19	1	48	11	6	11	2	8	10	13	3	96	8	53	16	173	28	420	22.9%	1.9%	12.6%	3.8%	41.2%	11.7%	0.7%	0.7%	8.8%	1.0%	22.1%	77.9%		
1	11	4	4	13	10	1	41	6	1	6	10	9	9	5	80	0	29	2	111	28	420	19.0%	0.0%	6.9%	0.5%	73.6%	20.7%	0.5%	10.7%	2.1%	34.0%	66.0%				
2	5	5	5	8	7	2	39	5	1	5	1	10	12	1	6	69	1	9	24	103	28	420	16.4%	0.2%	2.1%	5.7%	75.5%	22.9%	5.7%	4.8%	33.3%	66.7%				
3	4	15	1	16	16	3	40	9	4	9	9	9	12	15	81	1	59	5	146	31	465	17.4%	0.2%	12.7%	1.1%	68.6%	22.6%	0.4%	7.5%	0.9%	31.4%	68.6%				
合計	72	12	115	20	171	8	85	28	509	0	21	10	111	8	78	47	134	4	88	48	997	32	387	153	1,569	18.5%	0.6%	7.2%	2.8%	70.9%	17.8%	0.8%	7.5%	2.8%	28.9%	71.1%

普通 教育、福祉関係の会議、組合会議、サークル活動(体操、踊り)、法律・就職相談、宗教団体、政治団体

減額 市内の福祉団体、県社会福祉協議会、県聴覚障害者協会

免除 市、市教育委員会、市教育研究所、ボランティア、福祉関係サークル、行政相談、社協事業・団体事務等

営業 物品販売、営業会議、健康セミナー、民間資格養成講座、学校説明会・入学試験

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑧公益事業（福祉センター管理運営サービス区分）

四万十市社会福祉センター利用状況（免除）

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			合計
	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	
4	5		3	2	2	4	1			4	2	4	5	10	6	17			33
5	4		9	1		4			1	2	1	3	6	6	6	18			30
6	4		1		1					1				4	1	2			7
7	7		6	2	2	4	3	2	1	7	2	3	3	13	6	23			42
8	6		5		2	1	1			6		3	2	6	5	15			26
9	3		2		4	1				6		4		3	8	9			20
10	7		6	1	3	3	2	1		9	3	4	2	14	7	22			43
11	9		5	1	3	2		2		4	1	5	2	15	8	13			36
12	10		4	6	3			8	1	2	8	4	1	38	8	7			53
1	2		2	2	3	5			1	9		2	3	4	6	19			29
2					3	4				1			1	0	3	6			9
3	9		6		7	9	2	2		7	1	4	10	14	11	34			59
合計	66	0	49	15	33	37	12	16	4	58	18	38	32	127	75	185			387

市 教育委員会・教育研究所・行政相談
 団体 精神障害者家族会「虹の会」・朗読の会虹・中村話しサークルわかあゆ・認知症家族の会たんぽぽの会
 社協 社協事業・民協・日赤・共募・人材バンク・老人クラブ・身障連・ボランティア連絡協議会・四社連・ボランティア勉強会

令和3年度 事業報告の付属明細書

令和4年3月31日
四万十市社会福祉協議会

1. 他の法人等の重要な兼職の状況

区 分	氏 名	兼職先	兼職の内容	関 係
理 事	大林 郁男	特記すべき兼職はない		
〃	中平 晋祐	特記すべき兼職はない		
〃	宮下 貞子	特記すべき兼職はない		
〃	宮村 和輝	特記すべき兼職はない		
〃	川村 博	特記すべき兼職はない		
〃	上岡 敬	特記すべき兼職はない		
〃	安田 沙知	特記すべき兼職はない		
〃	佐伯 達雄	特記すべき兼職はない		
〃	岡村 武彦	特記すべき兼職はない		
監 事	弘井 弘	特記すべき兼職はない		
〃	北澤 美智子	特記すべき兼職はない		

2. その他

- ・ 事業報告を補完すべき事項はありません
- ・ この明細書は、四万十市社会福祉協議会定款第39条第1項第2号により添付しております